

## FACTORY AUTOMATION

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル GOT2000対応HMIソフトウェア GT SoftGOT2000

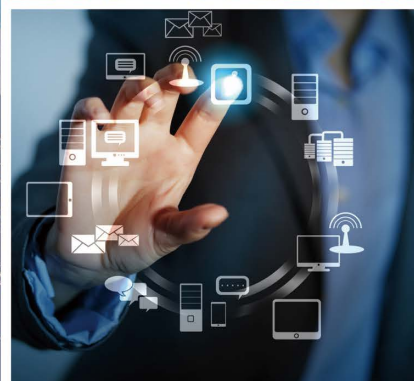
MELSOFT 



## **GT SoftGOT2000**

生産現場の見える化をもっと身近に。

# 三菱電機グループは「グローバル環境先進企業」を目指します。



## *Changes for the Better*

三菱電機グループは、「常により良いものを目指し、変革していく」という“Changes for the Better”の理念のもと、活力とゆとりのある社会の実現に取り組んできました。そしていま、時代に応える“eco changes”の精神で、家庭から宇宙まで、あらゆる事業を通じ、環境に配慮した持続可能な社会の実現に向けてチャレンジしています。そのために、社員一人ひとりがお客さまと一体となって、グローバルな視点で、暮らしを、ビジネスを、社会を、より安心・快適に変えてゆきます。三菱電機グループは、最先端の環境技術と優れた製品力を世界に展開し、豊かな社会の構築に貢献する「グローバル環境先進企業」を目指します。

三菱電機グループは、以下の多岐にわたる分野で事業を展開しています。

### **重電システム**

タービン発電機、水車発電機、原子力機器、電動機、変圧器、パワーエレクトロニクス機器、遮断器、ガス絶縁開閉装置、開閉制御装置、監視制御、保護システム、大型映像表示装置、車両用電機品、エレベーター、エスカレーター、ビルセキュリティシステム、ビル管理システム、その他

### **産業メカトロニクス**

シーケンサ、産業用PC、FAセンサー、インバーター、ACサーボ、表示器、電動機、ホイス、電磁開閉器、ノーヒューズ遮断器、漏電遮断器、配電用変圧器、電力量計、無停電電源装置、産業用送風機、数値制御装置、放電加工機、レーザー加工機、産業用ロボット、クラッチ、自動車用電機品、カーエレクトロニクス、カーメカトロニクス機器、カーマルチメディア機器、その他

### **情報通信システム**

無線通信機器、有線通信機器、監視カメラシステム、衛星通信装置、人工衛星、レーダー装置、アンテナ、放送機器、データ伝送装置、ネットワークセキュリティシステム、情報システム関連機器及びシステムインテグレーション、その他

### **電子デバイス**

パワーモジュール、高周波素子、光素子、液晶表示装置、その他

### **家庭電器**

液晶テレビ、ルームエアコン、パッケージエアコン、ヒートポンプ式給湯暖房システム、冷蔵庫、扇風機、換気扇、太陽光発電システム、電気温水器、LED ランプ、蛍光灯、照明器具、圧縮機、冷凍機、除湿機、空気清浄機、ショーケース、クリーナー、ジャー炊飯器、電子レンジ、IHクッキングヒーター、その他

# INDEX

1. GT SoftGOT2000とは	04
2. GT SoftGOT2000の特長	06
3. GT SoftGOT2000 Solution	08
4. 機能一覧	19
5. MI3000 with GT SoftGOT2000	20
6. GT SoftGOT2000の接続可能な機種一覧	22
7. 仕様/動作環境	28
8. 製品一覧	29
9. サポート	30



**GT SoftGOT2000**

# GT SoftGOT2000とは...

GT SoftGOT2000とは、パソコンやパネコン上で動作するHMIソフトウェアです。  
パソコンやパネコンとネットワークで接続されたFA機器の情報をモニタし、  
操作できます。

\* GT SoftGOT2000は、GT Works3に同梱されているソフトウェアです。使用時は、別途ライセンスキー (GT27-SGTKEY-U)の装着が必要です。  
また、GT SoftGOT2000の最新版ソフトウェアは、三菱電機FAサイト([www.MitsubishiElectric.co.jp/fa](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa))よりダウンロードできます。



GT SoftGOT2000用  
ライセンスキー (USBポート用)

パソコンへ装着

GT SoftGOT2000

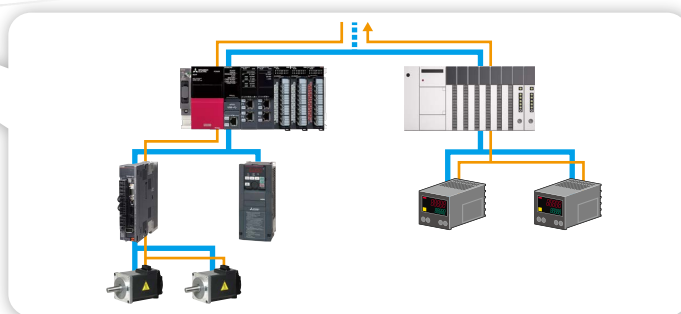


リモート  
監視

便利な  
操作盤

稼働状況の  
伝達

簡易分析



現場に行かずに、事務所のパソコンでリモート監視！  
様々なFA機器の情報を収集しモニタ、操作ができる！

## 事務所からのリモート監視ツールとして

生産現場の様々な情報を事務所のパソコンで確認できます。画面作成ソフトウェア GT Works3で確認したい情報を設定するだけで、簡単に表示できます。



GT SoftGOT 2000

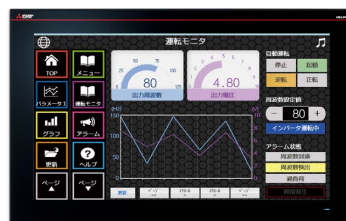
リモート  
監視

## 装置の操作盤として

様々なFA機器と接続してモニタ、操作できるため装置の操作盤として使用できます。また、Windows® OS対応のアプリケーション (Microsoft® Excel®など)を起動でき、従来パソコンで行っていた作業と統合することができます。

三菱電機社製パネルコンピュータMI3000なら、GT SoftGOT2000がプリインストールされているため、簡単に導入できます。

▶MI3000の詳細はP.20へ



MI3000 with GT SoftGOT 2000

便利な  
操作盤

## オペレータへの情報伝達ツールとして

解像度を自由に設定できます。大型ディスプレイや、ノートパソコンなどで使用することで、アンドン表示や簡易リモート監視ができ、稼働状況などを離れた場所のオペレータに伝達することができます。

### 設定可能な解像度

横×縦:640～1920ドット × 480～1200ドット

### アンドン表示用のパソコン



GT SoftGOT 2000

### ノートパソコン



GT SoftGOT 2000

稼働状況の  
伝達

## エッジコンピューティングとして

FAとITを協調させるオープンな日本発のエッジコンピューティング領域のソフトウェアプラットフォームであるEdgexcrossに対応しています。Edgexcross連携機能でEdgexcrossが収集、加工したデータを簡単に見える化できます。



### 生産現場の様々なデータ

- 気温
- 湿度
- 圧力
- 電流値
- 材料の粘度 etc.



GT SoftGOT 2000

簡易分析

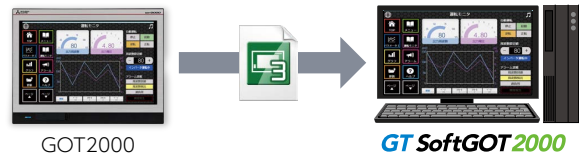
# GT SoftGOT2000の特長

## GOT2000シリーズとの高い親和性

GOT2000シリーズと同等の機能を使用できます。  
また、画面作成ソフトウェア GT Works3で作成したGOT2000シリーズのプロジェクトデータをGT SoftGOT2000に変換して使用できます。

▶対応している機能についてはP.19「機能一覧」へ

プロジェクトデータを流用



2

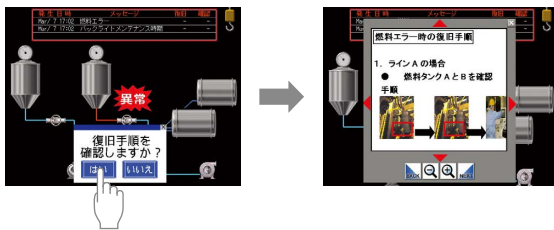
GT SoftGOT2000の特長

### 主要な機能をご紹介します

#### ドキュメント表示

GT SoftGOT2000で設備の操作マニュアルなどの各種ドキュメント\*1を表示できます。PDFファイルを閲覧でき、しおり表示やキーワード検索で、知りたい情報をすぐに確認できます。

\*1 ドキュメント表示用のデータは仮想ドライブに保存してください。  
対応しているドキュメントはPDFファイル、DocumentConverter出力ファイル(docx、xlsx、pptx、pdf、jpg、bmp)です。



#### レシピ

材料の配合の条件や加工条件などのデータ(デバイス値)をGT SoftGOT2000内に保持し、GT SoftGOT2000から書き換えられるため、段取り替えが簡単にできます。



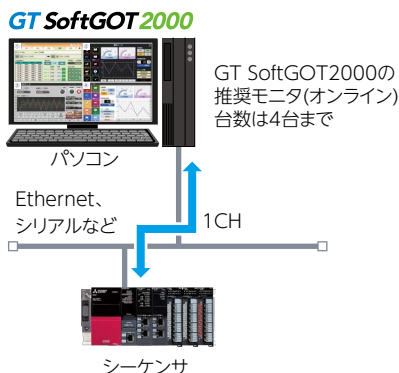
▶その他の主要な機能の詳細はP.15へ

## 選べるシステム構成

GT SoftGOT2000は1つのチャンネルのみをモニターするシングルチャンネル接続と、複数のFA機器を4チャンネルまで同時にモニターするマルチチャンネル接続が可能です。お客様の用途に合わせて選択できます。

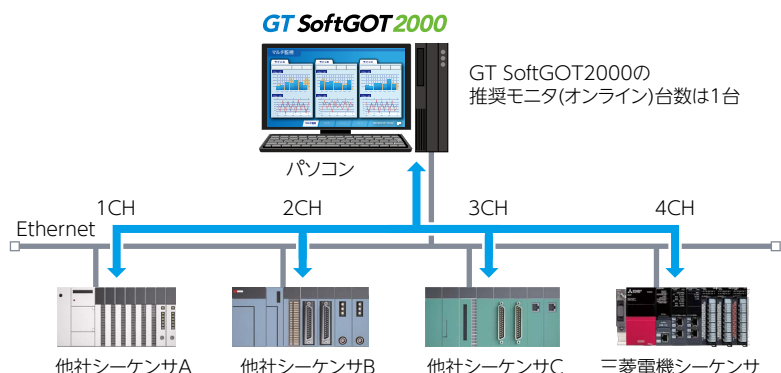
#### シングルチャンネル接続(GT SoftGOT2000)

GT SoftGOT2000が対応している全ての通信形態で接続できます。



#### マルチチャンネル接続(GT SoftGOT2000(Multi-channel) **NEW**)

Ethernet接続、OPC UAサーバとの接続、マイコン接続時のみマルチチャンネル接続が可能です。1台のGT SoftGOT2000で最大4チャンネルの複数FA機器を同時モニターできます。



## GT SoftGOT2000の豊富な機能を活用したソリューションはこちら

### 豊富な接続性

下記に記載の豊富な接続形態に対応しています\*1

#### 接続方法

Ethernet接続  
CPU直接接続  
シリアルコミュニケーション接続  
CC-Link IEコントローラネットワーク接続\*2

CC-Link IEフィールドネットワーク接続\*2  
MELSECNET/H、MELSECNET/10接続\*2  
MODBUS®/TCPマスタ接続  
MODBUS®/TCPスレーブ接続

SLMP接続  
OPC UAクライアント接続 **NEW**  
マイコン接続(シリアル) **NEW**

#### 接続可能機器

三菱電機MELSECシーケンサ  
オムロン社製シーケンサ  
キーエンス社製シーケンサ  
SIEMENS社製シーケンサ

東芝社製シーケンサ  
安川電機社製シーケンサ  
横河電機社製シーケンサ  
三菱電機産業用PC

サーボアンプ  
ロボットコントローラ  
CNC  
RFID/バーコードリーダ

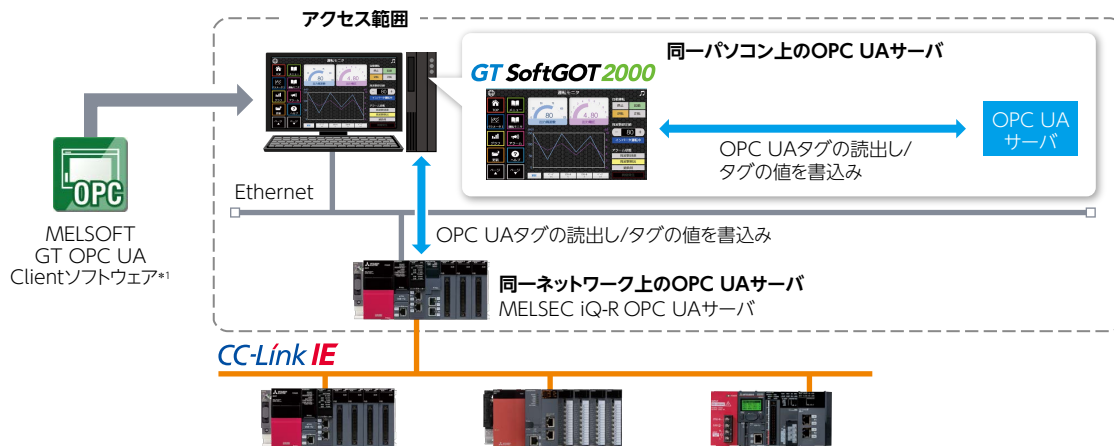
\*1 システム構成(マルチチャンネル接続、シングルチャンネル接続)によって、対応している接続形態が異なります。詳細はP.22「GT SoftGOT2000の接続可能な機種一覧」または、GT SoftGOT2000 Version1 操作マニュアルをご参照ください。

\*2 ネットワークインタフェースボードが必要です。

### OPC UAサーバとの接続が可能 **NEW**

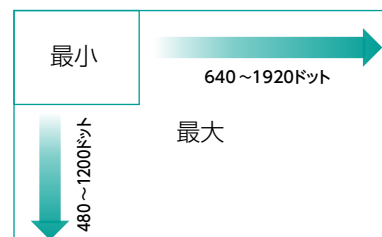
GT SoftGOT2000をOPC UAのクライアントとして、OPC UAサーバに接続できます\*1。

\*1 OPC UAサーバと接続するには、MELSOFT GT OPC UA Clientソフトウェアのインストールが必要です。ソフトウェアはFAサイトまたはEdgexcrossマーケットプレイスより入手できます。また、OPC UAクライアント接続を使用する場合、OSはWindows®7以降を使用してください。



### 解像度は自由に設定可能

ユーザが自由に設定できる解像度指定により、使用する情報機器に応じて画面サイズを変更できます。



# GT SoftGOT2000 Solution

GT SoftGOT2000が現場の課題を解決します！

## システム構築の課題

GT SoftGOT2000 で解決!

1

パソコンと現場のFA機器を簡単に接続したい



様々な通信ドライバ搭載でFA機器との接続が簡単!

P.10 >>>

2

手間をかけずに簡単に画面作成したい



初心者でも簡単な操作で、画面作成できる!

P.10 >>>

3

異なるメーカーのシーケンサもまとめて監視したい



複数メーカーのシーケンサを一括監視できる!

P.11 >>>

4

事務所で複数ラインの一括監視がしたい



1台のパソコンで複数ラインを一括監視できる!

P.11 >>>

5

事務所から現場GOTの情報をそのままモニタしたい



現場GOTと同じ画面をパソコンでモニタできる!

P.12 >>>

6

システムのFDA 21 CFR Part 11への対応を簡単にしたい



FDA 21 CFR Part 11対応をサポートする機能を多数搭載!

P.13 >>>





## システム運用の課題

GT SoftGOT2000 で解決!

7

ユーザ作成アプリケーションと連携して作業効率を向上したい



ユーザ作成アプリケーションとデータのやり取りができ作業効率を向上!

P.14 >>>

8

トラブル発生時に迅速に復旧したい



豊富な保全機能がトラブルシュートをサポート!

P.15 >>>

9

セキュリティを確保したい



アクセス管理と操作ログによるユーザ管理でセキュリティ強化!

P.15 >>>

## 生産現場のIoT化の課題

GT SoftGOT2000 で解決!

10

簡単に生産現場をIoT化してデータ分析したい



Edgecorssが生産現場の様々なデータの分析をサポート!

P.16 >>>

11

生産現場のデータを簡単に見える化し、簡易分析したい



分析用のサンプル画面で簡易分析・見える化システムを簡単構築!

P.16 >>>

12

各装置で個別で管理している情報を有効活用したい



メーカーの異なる複数装置の情報を、簡単収集、見える化、一括管理!

P.17 >>>

## システム拡張の課題

GT SoftGOT2000 で解決!

13

上位システムと生産現場を簡単に接続して、データ連携したい



OPC UAで、上位システムと簡単に接続できる!

P.18 >>>

14

簡単にプロセス制御の操作、監視を行いたい



MELSEC計装のモニタツールを活用して簡易監視できる!

P.18 >>>

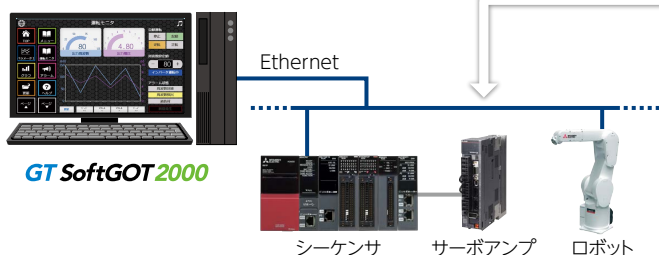
# システム構築の課題に応えます！

## 1 様々な通信ドライバ搭載でFA機器との接続が簡単！

↑ パソコンと現場のFA機器を簡単に接続したい

### 様々なFA機器のデータをモニタ可能

GT SoftGOT2000は豊富な通信ドライバを標準搭載。画面作成ソフトウェア GT Works3で接続先を選択するだけで、FA機器との接続ができます。



### 駆動機器(サーボ)連携ソリューション GOT Drive<sup>®</sup>

モーションコントローラやシンプルモーションユニット、MELSERVO-J4 サーボアンプ(MR-J4-B)のデバイスをモニタできます。  
サーボシステムの状態を見える化することで、立上げ作業・調整作業の効率化、予防保全・保守作業の効率化を実現できます。

▶ 接続可能な機種一覧や接続形態についてはP.22「GT SoftGOT2000の接続可能な機種一覧」へ

## 2 初心者でも簡単な操作で、画面作成できる！

↑ 手間をかけずに簡単に画面作成したい

### 画面作成ソフトウェア GT Works3

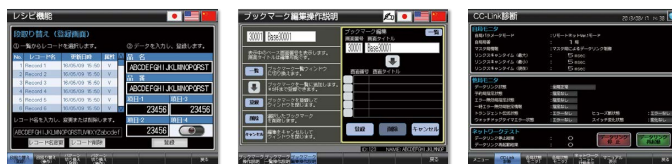
操作は簡単。パーツを選んで画面に並べるだけ！  
「選ぶ」▶「並べる」の直感的な操作で、思いのままに画面が作成できます。

よく使うパーツを「お気に入り」、「マイライブラリ」に登録しておけば、すぐに使えて画面設計工数を削減できます。また、インポート/エクスポートも可能です。



GT Works3に同梱しているサンプル画面で、効率的に画面を作成！

現場でよく使われる機能やおすすめ機能のサンプル画面をGT Works3に同梱しています。  
GOT2000シリーズ用サンプル画面の解像度を変更して使用できます。一から画面を作成する必要がなく、画面設計工数を削減します。



サンプル画面[対応言語:日本語・英語・中国語(簡体字)]

\* 最新のサンプル画面は、三菱電機FAサイト(www.MitsubishiElectric.co.jp/fa)のサンプルライブラリコーナーよりダウンロードできます。



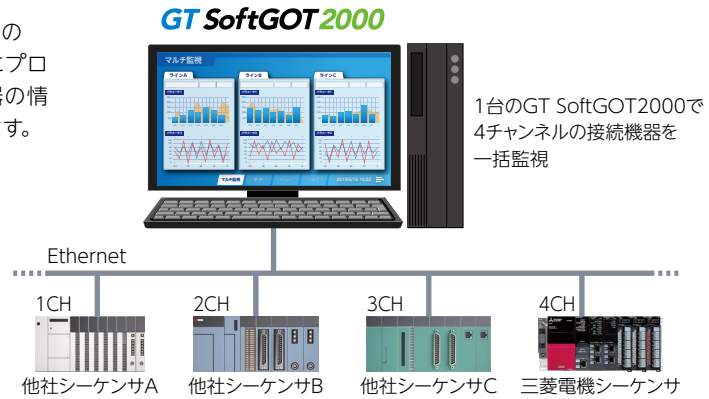
## 3 複数メーカーのシーケンサを一括監視できる!

↑ 異なるメーカーのシーケンサもまとめて監視したい

マルチチャンネル接続(GT SoftGOT2000 (Multi-channel))選択時のみ使用可能

### マルチチャンネル接続 **NEW**

Ethernetで接続したFA機器を最大4チャンネルまで1台のGT SoftGOT2000でモニタできます。接続機器ごとにプロジェクトを作成する必要がなく、1つの画面で複数機器の情報を確認できるため、監視作業効率と操作性が向上します。



## 4 1台のパソコンで複数ラインを一括監視できる!

↑ 事務所で複数ラインの一括監視がしたい

### 複数台起動

1台のパソコンでGT SoftGOT2000を複数台起動できるため、複数ラインの一括モニタができます。また、マルチモニターで表示することで大画面で監視できます。



### マルチチャンネル接続で一括監視 **NEW**

マルチチャンネル接続なら、複数台の起動ではなく1台のGT SoftGOT2000で複数ライン分の一括監視が可能です。

## 5 現場GOTと同じ画面をパソコンでモニタできる!

↑ 事務所から現場GOTの情報をそのままモニタしたい

シングルチャンネル接続  
(GT SoftGOT2000)選択時のみ使用可能

### SoftGOT-GOTリンク機能

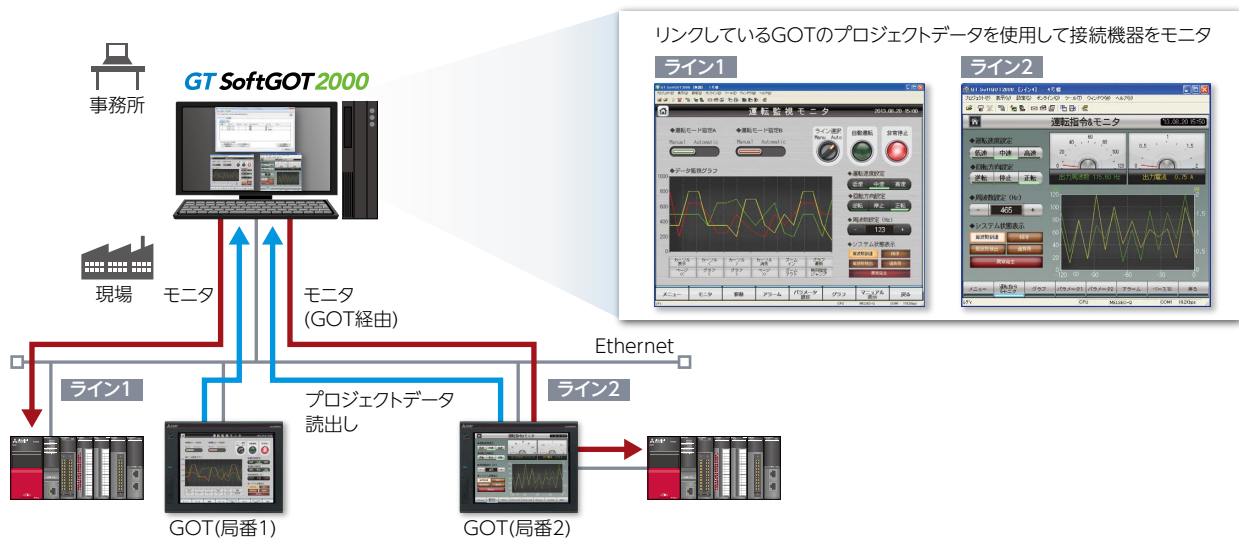
現場にGOTがあれば、Ethernetで接続されたGOTのプロジェクトデータをGT SoftGOT2000が読み出し、そのプロジェクトデータを使って接続機器をモニタできます。

GT SoftGOT2000用のプロジェクトデータを作成する必要がなく、Ethernetで接続されたFA機器をすぐに遠隔監視できます。

GT SoftGOT2000では現場のGOTと別の画面を開覧できるため、現場の作業に影響を与えることなく、監視できます。

また、GT SoftGOT2000とGOTでの同時操作を防ぐため、どちらか一方のみの操作を許可する排他制御を標準で搭載しており、安心して運用できます。

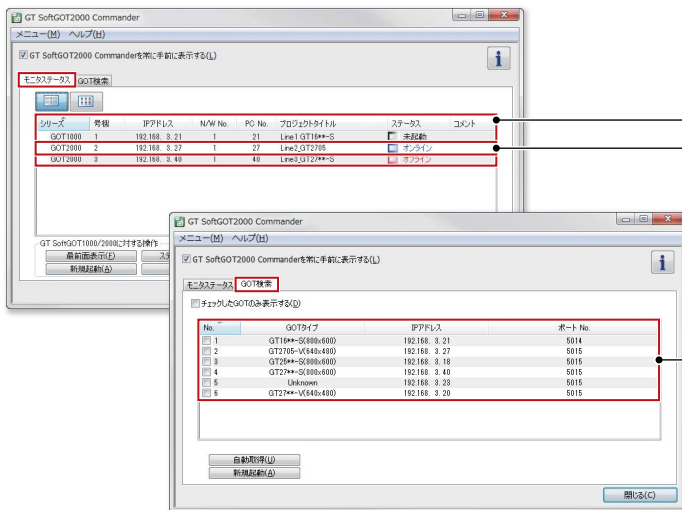
\* SoftGOT-GOTリンク機能に対応するGOTはGT27、GT25です。GT21は対応していません。



### GT SoftGOT2000 Commanderで監視作業を効率よく!

GT SoftGOT2000 Commanderで、SoftGOT-GOTリンク機能を使用しているGT SoftGOT2000のモニタ状態の確認、モニタの開始/停止を操作するなどの一括管理ができます。

\* GT SoftGOT2000 CommanderはGT SoftGOT2000同様に、GT Works3に同梱されているソフトウェアです。



SoftGOT-GOTリンク機能を使用したいGOTが多数ある場合に、大活躍!

どのGOTとリンクしていて、モニタステータスがどのような状態にあるか一瞥で把握できます。

GT SoftGOT2000の推奨するモニタ(オンライン)台数は4台のため、例えば20台起動しておいて、モニタステータスを切り換えて4台のみをオンライン(モニタ中)にする運用で、効率的に大規模システムの監視ができます。

モニタ開始/停止の変更が簡単!

各行のコメント列をダブルクリックでステータス(オンライン⇄オフライン、未起動⇄オンライン(オフライン))を切り換えます。

- ・オンライン:モニタ中
- ・オフライン:モニタ停止

リンクしたいGOTを自動で検索!

SoftGOT-GOTリンク機能を使用可能なGOTを検索できます。



## 様々な機器との排他制御で同時操作を防止!

### ネットワーク連携機能

同一ネットワーク上のGT SoftGOT2000、GOT、GOT Mobile機能のクライアント端末などからの同時操作を防止できます。  
排他制御の有効/無効は表示する画面ごとに設定できます。



## 6 FDA 21 CFR Part 11対応をサポートする機能を多数搭載!

↑ システムのFDA 21 CFR Part 11への対応を簡単にしたい

### サポート機能とサンプル画面を活用

食品・医薬品業界で求められるトレーサビリティ情報の電子的な記録に対する規格であるFDA 21 CFR Part 11への対応\*1をGT SoftGOT2000の機能でサポートします。お客様のシステム構築をサポートするサンプル画面をご用意しています\*2。

- \*1 GT SoftGOT2000で対応可能な範囲は限られています。詳細はFDA 21 CFR Part 11へのGOT2000シリーズの取り組み(L(名)08608)またはテクニカルニュース(No.GOT-D-0077)をご参照ください。
- \*2 サンプル画面はGOT2000シリーズ用です。GT SoftGOT2000で使用する際は、GT SoftGOT2000に変換して使用ください。

#### 個人によるシステムアクセスを管理

オペレータ認証機能を使用することで、GT SoftGOT2000にログインできるユーザを管理できます。

#### ▶オペレータ認証機能(P.15)

\* なりすましを防止するため、運用にはお客様の徹底した管理が必要です。



オペレータ名とパスワードを入力してログイン

#### 監査証跡記録(後日の追跡調査のための履歴)に対応

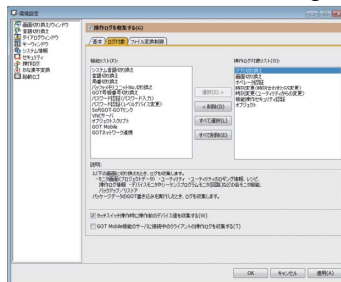
操作ログを適切に設定することで監査証跡を記録できます。

#### ▶操作ログ機能(P.15)

#### 操作ログで必要な記録

- ・タイムスタンプ
- ・ログインしているオペレータのユーザ名
- ・オペレータが操作した操作の説明と操作内容(データの変更前と後のログ)

#### 操作ログのログ対象設定画面(GT Designer3)



#### システム構築をサポートするサンプル画面

FDA 21 CFR Part 11に対応するための設定例を示したサンプル画面です。



# システム運用の課題に応えます！

## 7 ユーザ作成アプリケーションとデータのやり取りができ作業効率を向上！

↑ ユーザ作成アプリケーションと連携して作業効率を向上したい

### より高度なシステムを構築できる

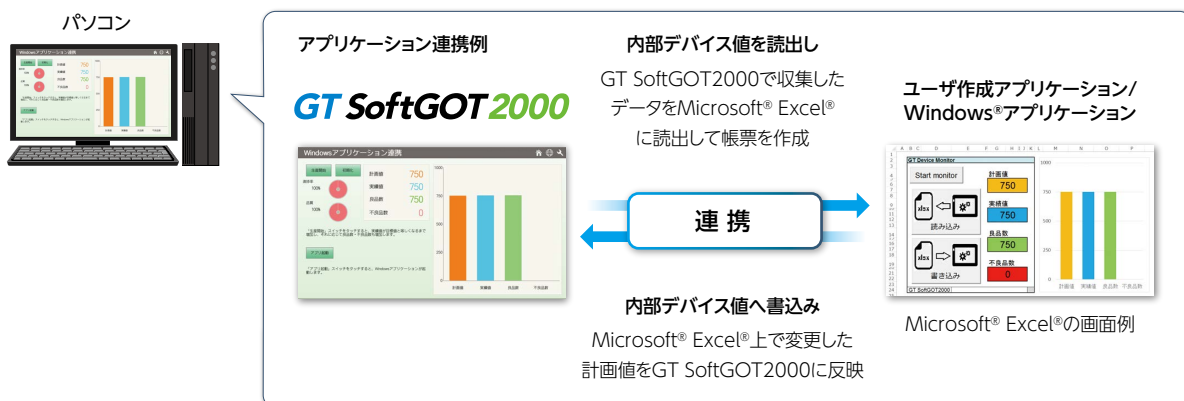
GT SoftGOT2000からWindows®の別アプリケーションの起動が可能です。

また、ユーザで作成したアプリケーションからGT SoftGOT2000の内部デバイスに対し、読出し/書込みを行うことができます。

GT SoftGOT2000とユーザ作成アプリケーションの連携により、ユーザ独自の制御、データ管理などが実現できます。

\* 使用できる内部デバイスはGD、GS、GB、SGB、SGDです。

\* 対応しているアプリケーションについては、GT SoftGOT2000 Version1 操作マニュアルをご参照ください。



### Point GT SoftGOT2000のモニタ画面のタッチスイッチから他アプリケーションを起動できる！

あらかじめGT SoftGOT2000の画面にアプリケーション起動用のタッチスイッチなどを配置しておくことでGT SoftGOT2000をモニタ中に、他のアプリケーション(Microsoft® Excel®など)を起動することができます。設備監視とパソコンアプリケーション操作の連携により、監視作業の効率化を実現します。

#### Microsoft® Excel®を起動

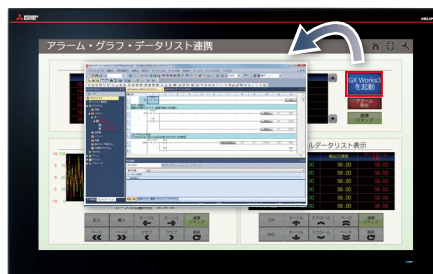
GT SoftGOT2000で収集したロギングデータをすぐにグラフで確認できます。



#### GX Works3を起動

MI3000を現場に置いておけばノートパソコンを持ち込んでもシーケンスプログラムをモニタできます。

\* あらかじめGX Works3をインストールする必要があります。



### 自動起動も可能！

スクリプトを使用して、エラーが発生した場合やデバイス値の条件などを設定することで、他アプリケーションの自動起動が可能です。GSデバイスを使用して制御します。

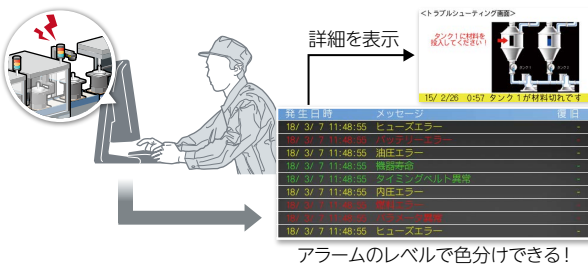


## 8 豊富な保全機能がトラブルシュートをサポート!

↑ トラブル発生時に迅速に復旧したい

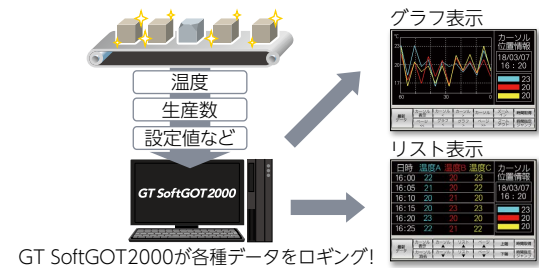
### アラーム表示機能

GT SoftGOT2000で接続機器のアラームを確認できます。アラームのレベルを色分けして表示したり、アラームの復旧方法など詳細を別ウィンドウで確認できるため、トラブル発生要因を容易に特定できます。



### ロギング & グラフ・リスト表示機能

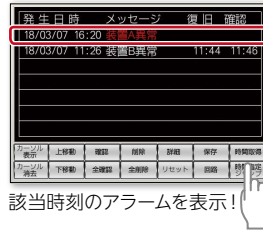
シーケンサや温度調節器などの接続機器のデータをGT SoftGOT2000で収集(ロギング)し、グラフやリストで表示できます。



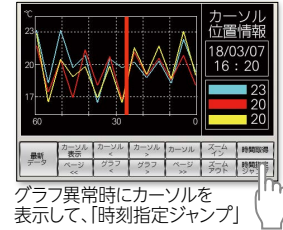
### 組み合わせで便利!

アラーム機能とロギング&グラフ・リストで連携し、アラーム発生時やグラフ異常時の状況を簡単に把握できます。

アラームを選択して、「時刻指定ジャンプ」



アラーム発生時のグラフを表示!



## 9 アクセス管理と操作ログによるユーザ管理でセキュリティ強化!

↑ セキュリティを確保したい

### オペレータ認証機能

オペレータ名とパスワードでオペレータのログインを管理できます。

オペレータ名とパスワードを入力してログイン



ログイン OK!

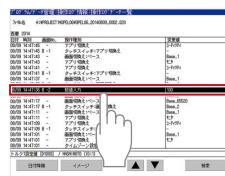
ログイン NG



### 操作ログ機能

操作した内容を時系列で記録して確認できます。

操作ログ一覧



さらに詳しく

詳細情報



### 組み合わせで便利!

オペレータ認証でログイン管理されたオペレータの、操作した内容を記録することで、「誰が・いつ・何を・どのように」操作したかを確認できます。不正な操作の抑止、トラブル発生時の原因究明に役立ちます。

# 生産現場のIoT化の課題に応えます！

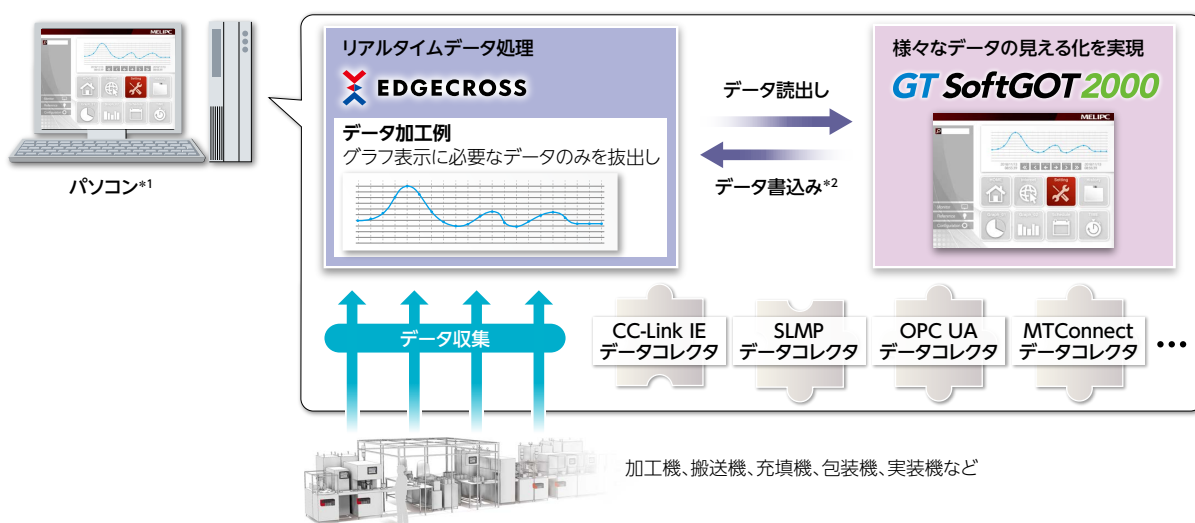
## 10 Edgexrossが生産現場の様々なデータの分析をサポート！

簡単に生産現場をIoT化してデータ分析したい

### Edgexross連携

EdgexrossはFAとITを協調させるオープンな日本発のエッジコンピューティング領域のソフトウェアプラットフォームです。Edgexrossにより、生産現場に近い場所でデータ分析・診断することで、生産現場へリアルタイムにフィードバックしたり、ベンダーやネットワークを問わず、各設備、装置からデータ収集及びデータ送受信が可能です。

Edgexrossで収集したデータはGT SoftGOT2000のグラフ表示や、トレンド表示など豊富な機能を活用して簡単に見える化し、簡易分析できます。



\*1 パソコンにEdgexross基本ソフトウェアと、データコレクタ、GT SoftGOT2000のインストールが必要です。

\*2 GT SoftGOT2000からEdgexross基本ソフトウェアへデータの書き込みをする場合は、別途MELSOFT GT OPC UA Clientソフトウェアのインストールが必要です。

## 11 分析用のサンプル画面で簡易分析・見える化システムを簡単構築！

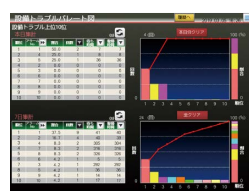
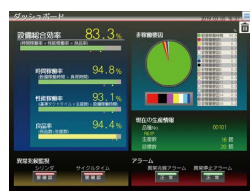
簡単に生産現場のデータを見える化し、簡易分析したい

### e-F@ctory支援モジュール(無償サンプルプロジェクト)の活用

e-F@ctory支援モジュールは、シーケンサ MELSEC iQ-RシリーズおよびGT SoftGOT2000で活用可能なサンプルプロジェクトです。見える化や簡易分析などのプログラムをサンプルプロジェクト形式で提供するため、デバイス割付けやパラメータ設定などの基本設定のみで生産現場レベルのIoT化を実現できます。

IoTシステムを導入する際に起こりえる、検討時間や予算など様々な課題の解決をe-F@ctory支援モジュールが支援します。

### e-F@ctory支援モジュール表示画面例



\* e-F@ctory支援モジュールのサンプルプロジェクトはGOT2000シリーズ用です。GT SoftGOT2000で使用する際は、GT SoftGOT2000に変換して使用ください。詳細内容や入手方法については最寄の支社または代理店へお問い合わせください。





## 12 メーカーの異なる複数装置の情報を、簡単に収集、見える化、一括管理！

各装置で個別で管理している情報を有効活用したい

### iQ Monozukuri 工程リモート監視の活用

iQ Monozukuri 工程リモート監視は、生産現場のIoT化を簡単に実現し、複数装置の情報の収集、見える化、一括管理を可能とするアプリケーションパッケージです。

現場GOTを介して、生産現場の稼働状況や、各装置ごとの操作ログやアラーム情報などを、GT SoftGOT2000に表示し、データ分析をすることで、生産現場全体の工程改善や生産性向上を支援します。

最大50台\*1の現場GOTとデータ連携でき、大規模システムの一括監視、一括管理を簡単に実現します。

### GT SoftGOT2000

iQ Monozukuri 工程リモート監視が収集した情報をGT SoftGOT2000で見える化

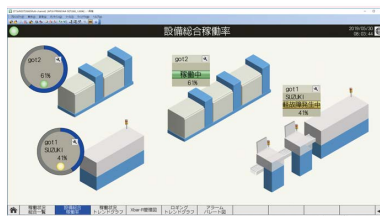


\*1 管理可能な現場GOTの台数は購入するライセンス数により異なります。50台のGOTの情報を管理したい場合は、10ライセンス版の製品をご購入ください。

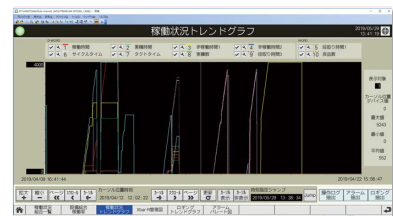
### iQ Monozukuri 工程リモート監視GT SoftGOT2000用テンプレートプロジェクトの画面例



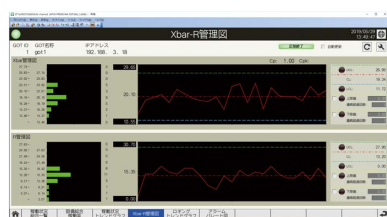
稼働状況総合一覧



設備総合稼働率



稼働状況トレンドグラフ



Xbar-R管理図



アラームパレード図



ロギングトレンドグラフ

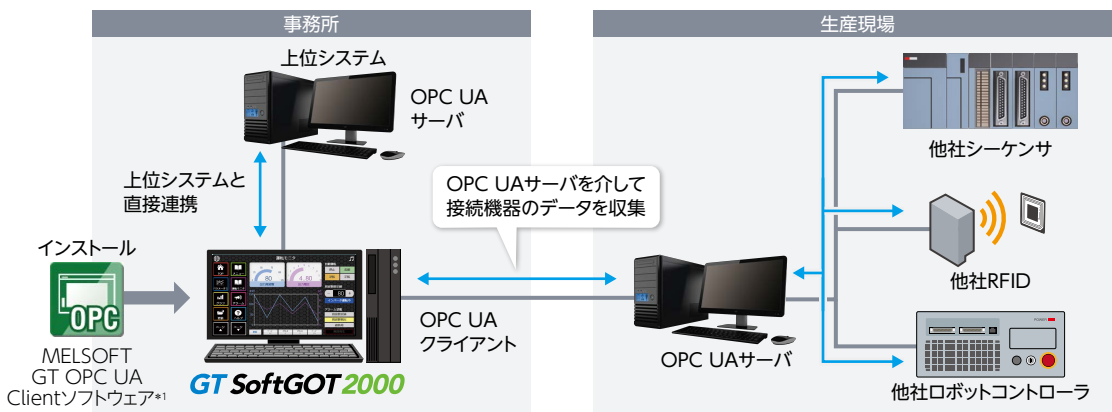
# システム拡張の課題に応えます！

## 13 OPC UAで、上位システムと簡単に接続できる！

↑ 上位システムと生産現場を簡単に接続して、データ連携したい

### OPC UAクライアント接続 **NEW**

GT SoftGOT2000はOPC UAクライアントとしてOPCサーバと接続できます。上位システムや、生産現場のGT SoftGOT2000が接続対応していない機器のデータもOPC UAサーバを介することでデータ収集可能です。



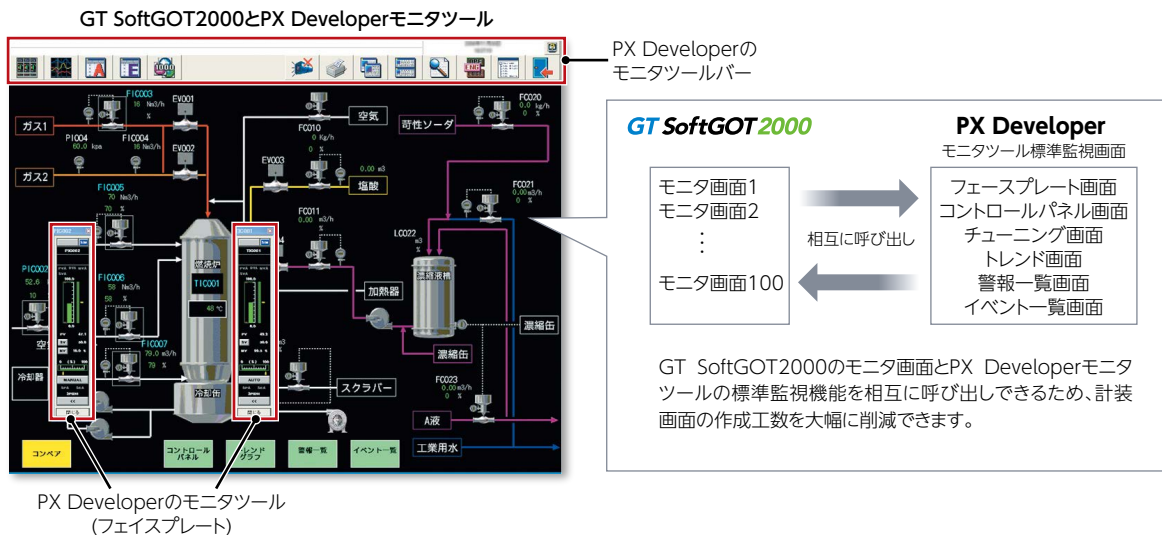
\*1 MELSOFT GT OPC UA Clientソフトウェアを三菱電機FAサイトまたはEdgecrossマーケットプレイスより入手し、インストールする必要があります。

## 14 MELSEC計装のモニタツールを活用して簡易監視できる！

↑ 簡単にプロセス制御の操作、監視を行いたい

### PX Developerモニタツールとの連携

計装制御の設計・保守業務向けエンジニアリングソフトウェアPX Developerモニタツールの標準監視画面とGT SoftGOT2000の連携により、計装監視システムが手軽に構築できます。



# 機能一覧

GOTで各種機能を使用する際に、SDメモリーカード、USBメモリー、バッテリー、オプションユニットなどが必要な場合があります。詳細は、GOT2000シリーズカタログ(L(名)08268)またはマニュアルをご参照ください。

項目	GT27	GT25*1	GT21*2	GT SoftGOT2000
画面サイズ	5.7型~15型	5.7型~12.1型	3.8型~7型	—
解像度	VGA、SVGA、XGA	VGA、WVGA、SVGA、WXGA	WVGA、その他	自由解像度 640~1920 × 480~1200
アラーム表示(ユーザ)	●	●	●*11	●
アラーム表示(システム)	●	●	—	●
ヒストリカルトレンドグラフ	●	●	●*11	●
グラフィカルメータ	●	●	●	●
ロギング	●	●	●*3	●
レシピ	●	●	●*11	●
デバイスデータ転送	●	●	●	●
ハードコピー	ファイル出力	●	●*3	●
	シリアルプリンタ出力	●	●*3	●*4
	Ethernetプリンタ出力	●	●	—
	PictBridgeプリンタ出力	●	●*6	—
レポート	ファイル出力	●	—	●*5
	シリアルプリンタ出力	●	●*3	●*5
	Ethernetプリンタ出力	●	●	●*5
	PictBridgeプリンタ出力	●	●*6	—
音声出力	●	●*6	—	●*7
GOT Mobile	●	●	—	—
VNCサーバ	●	●	—	—
パソコンリモート操作(Ethernet)	●	●	—	—
SoftGOT-GOTリンク	●	●	—	●
MESインタフェース	●	●	—	—
オペレータ認証	●	●	●*11	●
操作ログ	●	●	—	●
FAトランスペアレント	●	●	●	—
マルチチャンネル	4ch (ユニット3台まで装着可)	4ch (ユニット3台まで装着可*6)	●*3 2ch (ユニット装着不可)	●*8 4ch
局番切り換え	●	●	●	●
画面ジェスチャ/オブジェクトジェスチャ	●	—	—	—
GOTネットワーク連携	●	●	—	●
セキュリティキー認証	●	●	—	—
IPフィルタ	●	●	●	—
バックアップ/リストア	●	●	●*3	—
ドキュメント表示	●	●	—	●
デバイスモニタ	●	●	●	—
シーケンスプログラムモニタ(IQ-R回路)	●	●	—	—
シーケンスプログラムモニタ(回路)	●	●	—	—
ネットワークモニタ	●	●	—	—
CC-Link IEフィールドネットワーク診断	●	●	—	—
インテリジェントユニットモニタ	●	●	—	—
ドライブレコーダ	●	●	—	—
サーボアンビグラフ	●	●	—	—
モーションプログラム編集	●*9	●*9	—	—
モーションプログラム入出力	●*9	●*9	—	—
サーボアンビモニタ	●	●	—	—
Rモーションモニタ	●	●	—	—
Qモーションモニタ	●	●	—	—
CNCモニタ	●*9	●*9	—	—
CNCモニタ2	●	●	—	—
ログビューア	●	●	—	—
FXリスト編集	●	●	●*10	—
FX回路モニタ	●	●	—	—
システムランチャー/システムランチャー(サーボネットワーク)	●	●	—	—

- \*1 GT25ワイドモデル、GT25耐環境性強化モデル、GT25ハンディの仕様と異なります。詳細はGOT2000シリーズカタログ(L(名)08268)の機能一覧をご参照ください。
- \*2 GT21ワイドモデルの仕様と異なります。詳細はGOT2000シリーズカタログ(L(名)08268)の機能一覧をご参照ください。
- \*3 GT2104-PMBLS、GT2103-PMBLSは除きます。
- \*4 パソコンが認識しているプリンタに出力します。
- \*5 パソコンの仮想ドライブにCSVファイルが保存されるため、各ファイルからプリンタに出力してください。

- \*6 GT2505-VTBDは除きます。
- \*7 パソコン内蔵スピーカまたは、外付けスピーカで出力します。
- \*8 Ethernet接続、OPC UAクライアント接続、マイコン接続のみ対応します。
- \*9 GOT本体の解像度がSVGA以上の機種のみ対応します。
- \*10 GT2105-QTBDS、GT2105-QMBDS、GT2104-RTBDのみ対応します。
- \*11 GT2104-PMBLS、GT2103-PMBLSは、SDメモリーカードが必要な機能のみ使用できます。

# MI3000 with GT SoftGOT2000

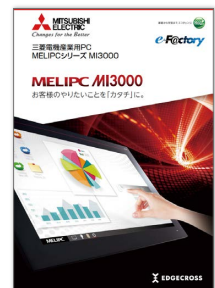
GT SoftGOT2000をプリインストールした  
三菱電機産業用PC MELIPCシリーズ MI3000をご紹介します。



MELIPCシリーズ MI3000  
ディスプレイ型型のパネルコンピュータ

▼ 詳細はこちら

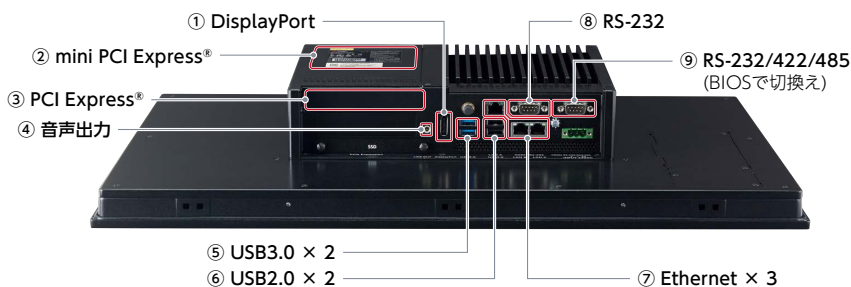
項目	MI3315G-W	MI3321G-W
OS	Windows® 10 IoT Enterprise 2016 LTSB(64bit)	
MPU	Intel® Core™ i3-6100U 2.30GHz(Dual Core)	
画面サイズ	15型	21.5型ワイド
解像度	XGA: 1024 × 768ドット	Full HD: 1920 × 1080ドット
表示色	1677万色	
タッチパネル方式	PCAP(投影型静電容量方式)	
メインメモリ	8GB	
内蔵ストレージ	64GB	



三菱電機産業用PC  
MELIPCシリーズ MI3000  
L(名)08599

## ニーズに合わせた拡張性を実現

- ① DisplayPort  
外部のモニタに出力可能です。  
さらに大きなモニタに出力して表示できます。
- ②③ PCI Express®/mini PCI Express®  
拡張ボードを活用して、機能拡張できます。
- ④ 音声出力  
アンプ内蔵スピーカを接続して音声出力が可能です。
- ⑤⑥ USB3.0/USB2.0  
各2ポート搭載し、多彩なUSB対応機器を活用できます。
- ⑦ Ethernet  
Ethernetを3ポート搭載し、Ethernet対応の豊富な機器と接続できます。  
事務所と生産現場のネットワークを分けることができ、セキュリティ面も安心です。
- ⑧⑨ RS-232/422/485  
既存設備からのデータ収集などに活用できます。



5

MI3000 with GT SoftGOT2000

# MELIPC MI3000

## エッジコンピューティング用途や操作盤として活躍

### 美しく迫力のある大画面

21.5型ワイドと15型の大画面機種をラインアップ。  
表示色は1677万色と表現力が向上します。

### PCAP(投影型静電容量方式)タッチパネルを搭載

スマートフォンやタブレット端末で多く採用されているPCAP  
タッチパネルを搭載し、軽い操作感を実現しています。

### GT SoftGOT2000で生産現場を簡単に見える化

GOT2000シリーズと同等の機能を持ったソフトウェアをプリイ  
ンストールしており、FA機器の見える化を簡単に実現します。

### Windows® OS搭載で使い方が広がる

使い慣れたWindows®アプリケーションはもちろん、ユーザが作  
成アプリケーションを活用でき、お客様ならではのシステム構築  
を実現します。

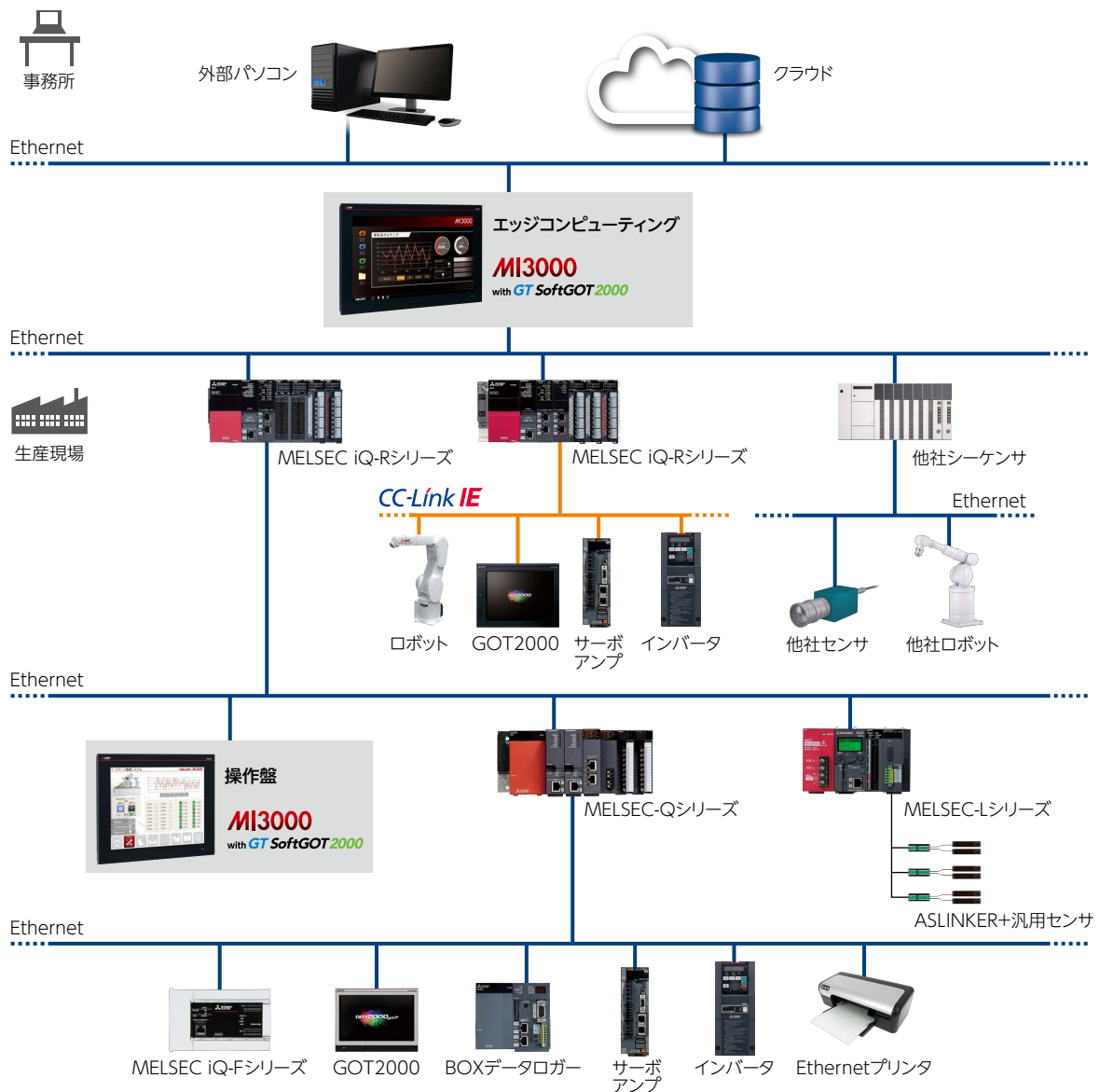
### エッジコンピューティング用途に適用可能

製造ビッグデータの加工や、上位システムとの連携などを簡単に  
実現するEdgecross基本ソフトウェアとSLMPデータコレクタを  
プリインストールしています。

### 操作盤としても使用できる

GT SoftGOT2000により、現場の操作ターミナルとしても使  
用できます。Windows® OS対応のソフトウェアを活用できる  
ため、操作盤の可能性が広がります。

## システム構成



# GT SoftGOT2000の接続可能な機種一覧

## 1. 三菱電機シーケンサ/C言語コントローラ/安全コントローラ/モーションコントローラ

シリーズ	形名	接続形態													
		Ethernet接続		CPU直接接続		シリアル コミュニ ケーション 接続	CC-Link IE TSN接続	CC-Link IE コントローラ ネットワーク 接続	CC-Link IE フィールド ネットワーク 接続	MELSEC NET/H 接続	MELSEC NET/10 接続 <sup>1)</sup>	MELIPC 直接接続			
		シングル	マルチ NEW	RS-232	USB										
MELSEC iQ-Rシリーズ	R00CPU	NEW													
	R01CPU	NEW													
	R02CPU	NEW													
	R04CPU														
	R08CPU														
	R16CPU														
	R32CPU		○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×		
	R120CPU														
	R04ENCPU														
	R08ENCPU														
	R16ENCPU														
	R32ENCPU														
	R120ENCPU														
	R08SFCPU <sup>*27</sup>														
	R16SFCPU <sup>*27</sup>		○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×		
	R32SFCPU <sup>*27</sup>														
	R120SFCPU <sup>*27</sup>														
	R08PCPU <sup>*28</sup>														
	R16PCPU <sup>*28</sup>		○	○	×	○	○	×	○	○ <sup>*29</sup>	×	×	×		
	R32PCPU <sup>*28</sup>														
	R120PCPU <sup>*28</sup>														
	R08PSFCPU <sup>*30</sup>														
	R16PSFCPU <sup>*30</sup>	NEW													
	R32PSFCPU <sup>*30</sup>	NEW	○	○	×	○	×	×	○	○ <sup>*29</sup>	×	×	×		
	R120PSFCPU <sup>*30</sup>	NEW													
	シーケンサ	ユニバーサルモデル 高速タイプ QCPU	Q03UDVCPU												
			Q04UDVCPU												
			Q06UDVCPU	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*18</sup>	○	○	×	○ <sup>*2</sup>	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	×	
			Q13UDVCPU												
			Q26UDVCPU												
		ユニバーサルモデル QCPU	Q00UCPU								○ <sup>*2</sup>				
			Q01UCPU												
			Q02UCPU								○ <sup>*3</sup>				
			Q03UDCPU	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	○	○	○	×			○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	×
			Q04UDHCPU												
			Q06UDHCPU												
			Q10UDHCPU												
			Q13UDHCPU								○ <sup>*2</sup>				
			Q20UDHCPU												
			Q26UDHCPU												
Ethernet 内蔵タイプ			Q03UDECPU								○ <sup>*3</sup>				
			Q04UDEHCPU												
		Q06UDEHCPU	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*18</sup>	○	○	×			○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	×	
		Q10UDEHCPU													
		Q13UDEHCPU								○ <sup>*2</sup>					
		Q20UDEHCPU													
		Q26UDEHCPU													
		Q50UDEHCPU													
		Q100UDEHCPU													
		Q00JCPU													
ベーシックモデル QCPU		Q00CPU <sup>*6</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	○	×	○	×	○ <sup>*5</sup>	×	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	×		
		Q01CPU <sup>*6</sup>													
		Q02CPU <sup>*6</sup>				×									
		Q02HCPU <sup>*6</sup>													
ハイパフォーマンス モデルQCPU		Q06HCPU <sup>*6</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	○	○	○	×	○ <sup>*7</sup>	×	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	×		
		Q12HCPU <sup>*6</sup>													
		Q25HCPU <sup>*6</sup>													
		Q04UDPVCPU													
		Q06UDPVCPU	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*18</sup>	○	○	×	○ <sup>*2</sup>	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	×		
ユニバーサルモデル プロセスCPU		Q13UDPVCPU													
		Q26UDPVCPU													
		Q02PHCPU								○ <sup>*8</sup>					
		Q06PHCPU	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	○	○	○	×		×	○ <sup>*23</sup>	○ <sup>*23</sup>	×		
プロセスCPU		Q12PHCPU								○ <sup>*9</sup>					
		Q25PHCPU													
	Q12PRHCPU	○	○	○	○	×	×	○ <sup>*9</sup>	×	○ <sup>*10</sup>	○ <sup>*10</sup>	×			
二重化CPU (基本ベース)	Q25PRHCPU														
	Q12PRHCPU	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×			
二重化CPU (増設ベース)	Q25PRHCPU														
	Q12PRHCPU	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×			
MELSEC-QSシリーズ	Q5001CPU	○	○	×	○ <sup>*11</sup>	×	×	○ <sup>*12</sup>	○ <sup>*13</sup>	○	○	×			
MELSEC-Lシリーズ	L02SCPU	○ <sup>*14</sup>	○ <sup>*14</sup>	○	○	○	×	×	○ <sup>*16</sup>	×	×	×			
	L02SCPU-P	○ <sup>*15</sup>	○ <sup>*15</sup>	○	○	○	×	×	○ <sup>*16</sup>	×	×	×			
	L02CPU														
	L02CPU-P														
	L06CPU														
	L06CPU-P	○ <sup>*14</sup>	○ <sup>*14</sup>	○ <sup>*17</sup>	○	○	×	×	○ <sup>*16</sup>	×	×	×			
	L26CPU														
	L26CPU-P														
	L26CPU-BT														
	L26CPU-PBT														

- GT SoftGOT2000には、シングルチャンネル接続のGT SoftGOT2000と、マルチチャンネル接続のGT SoftGOT2000(Multi-channel)の2つがあります。GT SoftGOT2000(Multi-channel)は、Ethernet接続とOPC UAサーバとの接続、マイコン接続のみ対応しています。そのため表では、Ethernet接続のみシングル(GT SoftGOT2000)とマルチ(GT SoftGOT2000(Multi-channel))を分けて記載します。OPC UAサーバとの接続、マイコン接続についてはP.27をご参照ください。
- 接続構成の詳細は、「GT SoftGOT2000 Version1 操作マニュアル」をご参照ください。

シリーズ	形名	接続形態											
		Ethernet接続		CPU直接接続		シリアル コミュニ ケーション 接続	CC-Link IE TSN接続	CC-Link IE コントロー ネットワーク 接続	CC-Link IE フィールド ネットワーク 接続	MELSEC NET/H 接続	MELSEC NET/10 接続 <sup>1)</sup>	MELIPC 直接接続	
		シングル	マルチ NEW	RS-232	USB								
シーケンサ	MELSEC iQ-Fシリーズ	FX5U	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX5UC	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX5UJ <b>NEW</b>	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
	MELSEC-Fシリーズ	FX0	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX0S	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX0N	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX1	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX1S	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX1N	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX1NC	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX2	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX2C	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX2N	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX2NC	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		FX3G	○	○*31	○	○	×	×	×	×	×	×	
FX3GC	○	○*31	○	○	×	×	×	×	×	×			
FX3U	○	○*31	○	○	×	×	×	×	×	×			
FX3UC	○	○*31	○	○	×	×	×	×	×	×			
FX3S	○	○*31	○	○	×	×	×	×	×	×			
C言語 コントローラ	MELSEC iQ-Rシリーズ	R12CCPU-V	○*25	○*25	×	○*26	○*19	×	○	○	×	×	
	MELSEC-Qシリーズ	Q24DHCCPU-V	○	○	○	○	○*19	×	○*2	○	○	×	
		Q24DHCCPU-VG	○	○	○	○	○*19	×	○*2	○	○	×	
		Q24DHCCPU-LS	○	○	○	○	○*19	×	○*2	○	○	×	
		Q26DHCCPU-LS	○	○	○	○	○*19	×	○*2	○	○	×	
Q12DCCPU-V*20	○	○	○	○	○*19	×	○*2	○	○	×			
安全 コントローラ	MELSEC-WSシリーズ	WS0-CPU0	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		WS0-CPU1	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		WS0-CPU3	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
モーション コントローラ	MELSEC iQ-Rシリーズ	R16MTCPU	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	
		R32MTCPU	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	
		R64MTCPU	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	
		Q172CPU	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	MELSEC-Qシリーズ	Q173CPU	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q172CPUN	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q173CPUN	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q172HCPU	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q173HCPU	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q172DCPU	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q173DCPU	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q172DCPU-S1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q173DCPU-S1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Q172DSCPU	○*23	○*23	○*18	○	○	×	○	×	○*23	○*23	×
		Q173DSCPU	○*23	○*23	○*18	○	○	×	○	×	○*23	○*23	×
Q170MCPU*21*22	○*23	○*23	○	○	○	×	○	○*4	○*23	○*23	×		
Q170MSCPU*22	○*23	○*23	○	○	○	×	○	○	○*23	○*23	×		
Q170MSCPU-S1*22	○*23	○*23	○	○	○	×	○	○	○*23	○*23	×		
MELSECNET/Hリモート I/O局	MELSEC iQ-Rシリーズ	QJ72LP25-25	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		QJ72LP25G	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
		QJ72BR15	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
CC-Link IE フィールドネットワ ークユニット	MELSEC iQ-Rシリーズ	RJ72GF15-T2	○	○	×	○	○	×	×	○*29	×	×	
		MELSEC-Lシリーズ	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	
CC-Link IE フィールドネットワークEthernetアダプタユニット		NZ2GF-ETB*24	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	

- \*1 MELSECNET/HをMN/10モードで使用する場合があります。リモートI/Oネットには接続できません。
- \*2 シリアルNo.の上5桁が09042以降のCC-Link IEコントローラネットワークユニットを使用してください。
- \*3 シリアルNo.の上5桁が09042以降のCPUとCC-Link IEコントローラネットワークユニットを使用してください。
- \*4 シリアルNo.の上5桁が12012以降のCPUを使用してください。
- \*5 機能バージョンB以降のCPUと、機能バージョンD以降のCC-Link IEコントローラネットワークユニットを使用してください。
- \*6 マルチCPUシステム構成時は、CPU機能バージョンB以降を使用してください。
- \*7 シリアルNo.の上5桁が09012以降のCPUを使用してください。また、1ネットワークの総局数が65局以上使用する場合は、シリアルNo.の上5桁が09042以降のCC-Link IEコントローラネットワークユニットを使用してください。
- \*8 1ネットワークの総局数が65局以上の場合、シリアルNo.の上5桁が09042以降のCC-Link IEコントローラネットワークユニットを使用してください。
- \*9 シリアルNo.の上5桁が10042以降のCPUとCC-Link IEコントローラネットワークユニット機能バージョンD以降を使用してください。
- \*10 MELSECNET/Hインタフェースボード用のドライバ(SW0DNC-MNETH-B)は、バージョンK以降を使用してください。
- \*11 自局、自号機設定のみアクセスできます。(他局、他号機へアクセスできません)
- \*12 シリアルNo.の上5桁が10032以降のCPUと、CC-Link IEコントローラネットワークユニット機能バージョンD以降を使用してください。
- \*13 シリアルNo.の上5桁が13042以降のCPUを使用してください。
- \*14 LJ71E71-100を使用時には、シリアルNo.上5桁が14112以降のCPUを使用してください。
- \*15 L02SCPU、L02SCPU-Pは、内蔵Ethernetポートがないため、LJ71E71-100を使用してください。
- \*16 シリアルNo.の上5桁が13012以降のCPUを使用してください。
- \*17 L6ADP-R2アダプタが必要です。
- \*18 シリアルポートがないため、マルチCPUシステムのQCPU経由(RS-232)でアクセスしてください。
- \*19 マルチCPUで他号機に管理されているシリアルコミュニケーションユニットのシリアルポートを使用してください。

- \*20 シリアルNo.の上5桁が12042以降のCPUを使用してください。
  - \*21 SV43使用時、以下本体OSソフトウェアバージョンがインストールされているモーションコントローラCPUを使用してください。  
SW7DNC-SV43□□:00F以降
  - \*22 シーケンサCPU部(1号機)にのみ接続できます。PERIPHERAL I/Fは使用できません。
  - \*23 Ethernet、MELSECNET/H、MELSECNET/10接続において、マルチCPUが存在するQCPUをモニタする場合は、必ずネットワークユニット機能バージョンB以降を使用してください。
  - \*24 NZ2GF-ETB経由で他局デバイスモニタできません。(自局デバイスはモニタできません)
  - \*25 RJ71EN71に対応していないため、内蔵Ethernetポートを使用してください。
  - \*26 パソコンとの接続用USBポートがないため、マルチCPUシステムのRCPU経由でモニタしてください。
  - \*27 RnSFCPUに隣接して安全機能ユニットR6SFMをベースユニットに装着してください。さらに、RnSFCPUと安全機能ユニットR6SFMのペーパーバージョンは、互いに一致する必要があります。このペーパーバージョンが一致しないと、RnSFCPUが動作しません。
  - \*28 二重化システムを構築する場合は、RnPCPUに隣接して、二重化機能ユニットR6RFMをベースユニットに装着してください。
  - \*29 二重化システムの場合、シリアルNo.の上5桁が18042以降のCC-Link IEフィールドネットワークインタフェースボードを使用してください。
  - \*30 RnPSFCPUに隣接して、SIL2機能ユニットR6PSFMと二重化機能ユニットR6RFMをベースユニットに装着してください。
  - \*31 使用するEthernetユニットによって、基本ユニットの対応バージョンが異なります。
- | Ethernetユニット*  | CPU         |                       |             |
|----------------|-------------|-----------------------|-------------|
|                | FX3U(C)     | FX3G(C)               | FX3S        |
| FX3U-ENET-L    | Ver. 2.21以降 | FX3U-ENET-Lに対応していません。 |             |
| FX3U-ENET-ADP* | Ver. 3.10以降 | Ver. 2.00以降           | Ver. 1.00以降 |
- \* FX35CPUと接続する場合、FX3U-ENET-ADP Ver.1.20以降を使用してください。

- \*32 PERIPHERAL I/Fを使用できます。

## 1.1. 三菱電機シーケンサ/C言語コントローラ/モーションコントローラと接続時に使用可能なユニット

### ●Ethernet接続時

#### ・シーケンサEthernetユニット

CPUシリーズ	Ethernetユニット
MELSEC iQ-Rシリーズ C言語コントローラ(MELSEC iQ-Rシリーズ) モーションコントローラ(MELSEC iQ-Rシリーズ) CC-Link IEフィールドネットワークヘッドユニット(MELSEC iQ-Rシリーズ)	RJ71EN71*4 RJ71GN11-T2 <b>NEW</b> *6*7*8*9
MELSEC-Qシリーズ(Qモード) MELSEC-QSシリーズ C言語コントローラ(MELSEC-Qシリーズ) モーションコントローラ(MELSEC-Qシリーズ)*1	QJ71E71-100 QJ71E71-B5 QJ71E71-B2 QJ71E71
MELSEC-Lシリーズ	LJ71E71-100*2
MELSEC-Fシリーズ	FX3U-ENET-L*3 FX3U-ENET-ADP*3*4*5

- \*1 Q170MCPUL、Q170MSCPU(S1)と接続時は、シーケンサCPU部(1号機)のみモニタできます。PERIPHERAL I/Fは使用できません。
- \*2 LJ71E71-100を使用時には、シリアルNo.上5桁が14112以降のCPUを使用してください。
- \*3 接続するCPUによって、増設機器用オプションが必要な場合があります。
- \*4 二重化システムを構築する場合は、ファームウェアバージョン'12'以降を使用してください。
- \*5 FX3SCPUと接続する場合、FX3U-ENET-ADP Ver.1.20以降を使用してください。
- \*6 GT SoftGOT2000(Multi-channel)選択時のみ使用可能です。
- \*7 MELSEC iQ-RシリーズのシーケンサCPUでのみ使用可能です。
- \*8 R00CPU、R01CPU、R02CPUを使用する場合は、ファームウェアバージョン'11'以降を使用してください。
- \*9 シーケンサCPU(R00CPU、R01CPU、R02CPUを除く)を使用する場合は、ファームウェアバージョン'43'以降を使用してください。

### ●シリアルコミュニケーション接続時\*1

#### ・シーケンサシリアルコミュニケーションユニット

CPUシリーズ	シリアルコミュニケーションユニット	
MELSEC iQ-Rシリーズ C言語コントローラ(MELSEC iQ-Rシリーズ) モーションコントローラ(MELSEC iQ-Rシリーズ) CC-Link IEフィールドネットワークヘッドユニット(MELSEC iQ-Rシリーズ)	RJ71C24*3 RJ71C24-R2*3	
MELSEC-Qシリーズ(Qモード) C言語コントローラ(MELSEC-Qシリーズ) モーションコントローラ(MELSEC-Qシリーズ)*2	QJ71C24 QJ71C24-R2 QJ71C24N QJ71C24N-R2	QJ71CMO QJ71CMON
MELSEC-Lシリーズ CC-Link IEフィールドネットワークヘッドユニット(MELSEC-Lシリーズ)	LJ71C24 LJ71C24-R2	

- \*1 RS-232通信のみ可能です。
- \*2 Q170MCPUL、Q170MSCPU(S1)と接続時は、シーケンサCPU部(1号機)のみモニタできます。
- \*3 二重化システムを構築する場合は、ファームウェアバージョン'07'以降を使用してください。

### ●CC-Link IE TSN接続時

CPUシリーズ	CC-Link IE TSNユニット
MELSEC iQ-Rシリーズ	×

### ●CC-Link IEコントローラネットワーク接続時

#### ・ネットワークユニット(シーケンサ側)

CPUシリーズ	CC-Link IEコントローラネットワークユニット
MELSEC iQ-Rシリーズ C言語コントローラ(MELSEC iQ-Rシリーズ) モーションコントローラ(MELSEC iQ-Rシリーズ)	RJ71GP21-SX*2
MELSEC-Qシリーズ(Qモード) MELSEC-QSシリーズ C言語コントローラ(MELSEC-Qシリーズ) モーションコントローラ(MELSEC-Qシリーズ)*1	QJ71GP21-SX QJ71GP21S-SX

- \*1 Q170MCPUL、Q170MSCPU(S1)と接続時は、シーケンサCPU部(1号機)のみモニタできます。
- \*2 二重化システムを構築する場合は、ファームウェアバージョン'12'以降を使用してください。

#### ・ネットワークインタフェースボード(パソコン側)

種類	ネットワークインタフェースボード
CC-Link IEコントローラネットワーク	Q80BD-J71GP21-SX Q80BD-J71GP21S-SX Q81BD-J71GP21-SX(光ループ) Q81BD-J71GP21S-SX(光ループ、外部電源供給機能付き)

### ●CC-Link IEフィールドネットワーク接続時

#### ・ネットワークユニット(シーケンサ側)

CPUシリーズ	CC-Link IEフィールドネットワークユニット
MELSEC iQ-Rシリーズ C言語コントローラ(MELSEC iQ-Rシリーズ) モーションコントローラ(MELSEC iQ-Rシリーズ)	RJ71GF11-T2*2 RJ71EN71 RD77GF4 RD77GF8 RD77GF16 RD77GF32
MELSEC-Qシリーズ(Qモード) C言語コントローラ(MELSEC-Qシリーズ) モーションコントローラ(MELSEC-Qシリーズ)*1	QJ71GF11-T2
MELSEC-QSシリーズ	QS0J71GF11-T2
MELSEC-Lシリーズ	LJ71GF11-T2
MELSEC iQ-Fシリーズ	×

- \*1 Q170MCPUL、Q170MSCPU(S1)と接続時は、シーケンサCPU部(1号機)のみモニタできます。
- \*2 二重化システムを構築する場合は、ファームウェアバージョン'12'以降を使用してください。



- GT SoftGOT2000には、シングルチャンネル接続のGT SoftGOT2000と、マルチチャンネル接続のGT SoftGOT2000(Multi-channel)の2つがあります。GT SoftGOT2000(Multi-channel)は、Ethernet接続とOPC UAサーバとの接続、マイコン接続のみ対応しています。そのため表では、Ethernet接続のみシングル(GT SoftGOT2000)とマルチ(GT SoftGOT2000(Multi-channel))を分けて記載します。OPC UAサーバとの接続、マイコン接続についてはP.27をご参照ください。
- 接続構成の詳細は、「GT SoftGOT2000 Version1 操作マニュアル」をご参照ください。

・ネットワークインタフェースボード(パソコン側)

種 類	ネットワークインタフェースボード
CC-Link IEフィールドネットワーク	Q81BD-J71GF11-T2

●MELSECNET/H・MELSECNET/10接続時

・ネットワークユニット(シーケンサ側)

CPUシリーズ	MELSECNET/H・MELSECNET/10ネットワークユニット	
	光ループ	同軸バス
MELSEC-Qシリーズ(Qモード)*1 MELSEC-QSシリーズ モーションコントローラ(MELSEC-Qシリーズ)*2	QJ71LP21 QJ71LP21-25 QJ71LP21S-25	QJ71BR11*
C言語コントローラ(MELSEC-Qシリーズ)	QJ71LP21-25 QJ71LP21S-25	

- \*1 CPU、MELSECNET/Hネットワークユニットは、機能バージョンB以降を使用してください。
- \*2 Q170MCP、Q170MSCPU(-S1)と接続時は、シーケンサCPU部(1号機)のみモニターできます。

・ネットワークインタフェースボード(パソコン側)

種 類	ネットワークインタフェースボード
MELSECNET/H	Q80BD-J71LP21-25(光ループ) Q80BD-J71LP21S-25(光ループ、外部電源供給機能付き) Q80BD-J71LP21G(光ループ) Q80BD-J71BR11(同軸ループ) Q81BD-J71LP21-25(光ループ)

2. 三菱電機産業用PC **NEW**

シリーズ	形名	接続形態											
		Ethernet接続		CPU直接接続		シリアル コミュニ ケーション 接続	CC-Link IE TSN接続	CC-Link IE コントローラ ネットワーク 接続	CC-Link IE フィールド ネットワーク 接続	MELSEC NET/H 接続	MELSEC NET/10 接続 <sup>*1</sup>	MELIPC 直接接続	
		シングル	マルチ <b>NEW</b>	RS-232	USB								
MELIPC	MIS122-VW	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	

- \*1 MELSECNET/HをMNET/10モードで使用する場合があります。リモート/Oネットには接続できません。

3. 三菱電機サーボアンプ(SSCNETⅢ/H)

シリーズ	形名	モーションコントローラ またはシーケンサ	接続形態										
			Ethernet接続		CPU直接接続		シリアル コミュニ ケーション 接続	CC-Link IE TSN接続	CC-Link IE コントローラ ネットワーク 接続	CC-Link IE フィールド ネットワーク 接続	MELSEC NET/H 接続	MELSEC NET/10 接続 <sup>*1</sup>	
		シングル モーション ユニット	CPU機種	シングル	マルチ <b>NEW</b>	RS-232	USB						
MELSERVO-J4 シリーズ	MR-J4-□B	—	RnMTCPU	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×
	MR-J4-□B-RJ	RD77MS	RnCPU	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×
	MR-J4W2-□B	FX5-40SSC-S	FX5CPU	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
	MR-J4W3-□B	FX5-80SSC-S	FX5UCPU	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×

- \*1 MELSECNET/HをMNET/10モードで使用する場合があります。リモート/Oネットには接続できません。

4. 三菱電機ロボットコントローラ

シリーズ	コントローラ名	接続形態										
		Ethernet接続		CPU直接接続		シリアル コミュニ ケーション 接続	CC-Link IE TSN接続	CC-Link IE コントローラ ネットワーク 接続	CC-Link IE フィールド ネットワーク 接続	MELSEC NET/H 接続	MELSEC NET/10 接続 <sup>*1</sup>	
		シングル	マルチ <b>NEW</b>	RS-232	USB							
Fシリーズ	CR750-Q(Q172DRCPU)	○*2	○*2	○*3	○*5	○	×	○*4	○	○	○	
	CR751-Q(Q172DRCPU)											
	CR750-D	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	CR751-D											
SQシリーズ	CRnQ-700(Q172DRCPU)	○*2	○*2	○*3	○*5	○	×	○*4	○	○	○	
SDシリーズ	CRnD-700	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
FRシリーズ	CR800-D	○	○*7	×	×	×	×	×	×	×	×	
	CR800-R(R16RTCPU)	○	○	×	○*6	×	×	×	×	×	×	
	CR800-Q(Q172DSRCPU) <b>NEW</b>	○	○	○*3	○*5	○	×	○*4	○	○	○	

- \*1 MELSECNET/HをMNET/10モードで使用する場合があります。リモート/Oネットには接続できません。
- \*2 CRnQ-700、CR750/751-QのDISP I/Fは使用できません。Ethernetユニット(QJ71E71)またはマルチCPU(QnUDE)の内蔵Ethernetポート経由のみEthernet接続ができます。
- \*3 CRnQ-700、CR750/751-Q、CR-800-Qは、シリアルポートが無いため、マルチCPUシステムのQCPU経由(RS-232)でアクセスしてください。
- \*4 シリアルNo.の上5桁が09042以降のCC-Link IEコントローラネットワークユニットを使用してください。
- \*5 CR750-Q、CR751-Q、CRnQ-700、CR800-Qは、USBポートが無いため、マルチCPUシステムのQCPU経由でアクセスしてください。
- \*6 CR800-Rは、USBポートが無いため、マルチCPUシステムのRCPU経由でアクセスしてください。
- \*7 CR800-Dの内蔵LANポートにEthernet接続が可能です。

## 5. 三菱電機CNC

シリーズ	接続形態									
	Ethernet接続		CPU直接接続		シリアル コミュニケーション 接続	CC-Link IE TSN接続	CC-Link IE コントローラ ネットワーク 接続	CC-Link IE フィールド ネットワーク 接続	MELSEC NET/H 接続	MELSEC NET/10 接続 <sup>*1</sup>
	シングル	マルチ NEW	RS-232	USB						
CNC C80(R16NCCPU-S1)	○	○	×	○ <sup>*4</sup>	×	×	×	×	×	×
CNC C70(Q173NCCPU)	○	○	○ <sup>*2</sup>	○	○	×	○ <sup>*3</sup>	○	○	○

- \*1 MELSECNET/HをMNET/10モードで使用する場合のみ対応します。リモート/Oネットには接続できません。
- \*2 CNC C70は、シリアルポートが無いため、マルチCPUシステムのQCPU経由(RS-232)でアクセスしてください。
- \*3 シリアルNo.の上5桁が09042以降のCC-Link IEコントローラネットワークユニットを使用してください。
- \*4 CNC C80は、USBポートが無いため、マルチCPUシステムのRCPU経由でアクセスしてください。

## 6. 他社シーケンサ/モーションコントローラ

メーカー	形名	接続形態						
		Ethernet接続		CPU直接接続 (RS-232)	シリアルコミュニケーション 接続(RS-232)			
		シングル	マルチ NEW					
オムロン(株)	SYSMAC CJ1	CJ1H CJ1G	CJ1M	○	○	○	×	
	SYSMAC CJ2	CJ2H		○	○	○	×	
		CJ2M		○	○	○ <sup>*1</sup>	×	
	SYSMAC CPM	CPM2A		×	×	○	×	
	SYSMAC CQM1	CQM1		×	×	○ <sup>*2</sup>	×	
	SYSMAC CQM1H	CQM1H		×	×	○	×	
	SYSMAC CP1	CP1E(NTタイプ)		×	×	○ <sup>*6</sup>	×	
	SYSMAC CS1	CS1H CS1G	CS1D <sup>*3</sup>	○	○	○	×	
	SYSMAC CVM1/CV <sup>*4</sup>	CVM1-CPU11-V□ CVM1-CPU01-V□ CV500-CPU01-V□	CV1000-CPU01-V□ CV2000-CPU01-V□	×	×	○	×	
	SYSMAC α	C200HX C200HG	C200HE	×	×	○	×	
NJ	NJ501-□□□□ NJ101-□□□□	NJ301-□□□□	×	×	×	×		
(株)キーエンス	KV-700 KV-1000	KV-3000		○	○	×	×	
	KV-5000	KV-5500		○	○	×	×	
	KV-7300			○	○	×	×	
	KV-7500			○	○	×	×	
	PU811			○	○	×	×	
(株)東芝	ユニファイドコントローラ nvシリーズ	PUM11 NEW		○	○	×	×	
	PUM12 NEW			○	○	×	×	
	PUM14 NEW			○	○	×	×	
	GL120	GL130		×	×	○	×	
(株)安川電機	GL60S GL60H	GL70H		×	×	×	○	
	CP-9200SH			×	×	×	○	
	CP-9300MS			×	×	○	×	
	MP920			○	○	○	○	
	MP930			×	×	○	×	
	MP940			×	×	○	×	
	PROGIC-8			×	×	○	×	
	CP-9200(H)			×	×	○	×	
	CP-312			×	×	×	×	
	CP-317			○	○	×	○	
	MP2200 MP2300	MP2300S		○	○	×	○	
	MP3200	MP3300		○	○	×	×	
	横河電機(株)	FA-M3	F3SP05 F3SP08 F3FP36 F3SP21 F3SP25 F3SP28 F3SP35	F3SP38 F3SP53 F3SP58 F3SP59 F3SP66 F3SP67	○	○	×	×
		FA-M3V	F3SP71-4N F3SP71-4S	F3SP76-7S	○	○	×	×
		STARDOM	NFCP100	NFJT100	○ <sup>*7</sup>	○ <sup>*7</sup>	×	×
Siemens AG		SIMATIC S7-200シリーズ <sup>*5</sup> SIMATIC S7-300シリーズ	SIMATIC S7-400シリーズ SIMATIC S7-1200シリーズ <sup>*5</sup>	○	○	×	×	

- \*1 CJ2M-CPU1□のみ接続できます。
- \*2 CQM1-CPU11には、RS-232インタフェースがないため、接続できません。
- \*3 CPU単独システム構成時に、通信ユニットを単独使用している場合のみ接続可能です。
- \*4 SYSMAC CVM1/CVは、バージョン1以降のCPUで使用可能です。
- \*5 S7-200シリーズ、S7-1200シリーズのEthernet接続はOP通信のみ使用可能です。
- \*6 CP1EのEタイプには接続できません。
- \*7 MODBUS<sup>®</sup>/TCP接続のみサポート。MODBUS<sup>®</sup>/TCPマスタ通信ドライバを使用してください。

- GT SoftGOT2000には、シングルチャンネル接続のGT SoftGOT2000と、マルチチャンネル接続のGT SoftGOT2000(Multi-channel)の2つがあります。GT SoftGOT2000(Multi-channel)は、Ethernet接続とOPC UAサーバとの接続、マイコン接続のみ対応しています。そのため表では、Ethernet接続のみシングル(GT SoftGOT2000)とマルチ(GT SoftGOT2000(Multi-channel))を分けて記載します。OPC UAサーバとの接続、マイコン接続についてはP.27をご参照ください。
- 接続構成の詳細は、「GT SoftGOT2000 Version1 操作マニュアル」をご参照ください。

## 6.1. 他社シリアルコミュニケーション接続・Ethernet接続時に使用可能なユニット

メーカー		Ethernet		RS-232
オムロン(株)	Ethernetユニット	CS1W-ETN21 CS1W-EIP21	CJ1W-ETN21 CS1D-ETN21D	—
(株)キーエンス	Ethernetユニット	KV-LE20V KV-EP21V	KV-LE21V	—
(株)東芝	Ethernetユニット	EN811		—
(株)安川電機	MEMOBUSモジュール 通信モジュール	218IF 218IF-01 218IF-02*1 218TXB	JAMSC-IF60 JAMSC-IF61 CP-217IF 217IF	217IF-01 218IF-01 218IF-02*1
横河電機(株)	Ethernetインタフェース モジュール	F3LE01-5T F3LE11-0T F3LE12-0T		—
Siemens AG	Ethernetユニット	CP243-1 CP243-1 IT CP343-1 CP343-1 Advanced	CP343-1 IT CP343-1 Lean CP443-1 CP443-1 IT	—

\*1 MP2200、MP2300、MP2300SでEthernet接続、RS-232接続をする場合は、CPUのソフトウェアバージョン2.60以降を使用してください。

## 7. MODBUS®機器

MODBUS®/TCPマスタ、MODBUS®/TCPスレーブ接続に対応している機器と通信を行うことができます。

動作確認済みのMODBUS®機器は、三菱電機FAサイトにてテクニカルニュース「GOT2000シリーズ MODBUS®接続動作確認機器一覧」No.GOT-D-0070をご参照ください。

## 8. SLMP機器

SLMP接続に対応している機器と通信を行うことができます。

動作確認済みのSLMP機器は、三菱電機FAサイトにてテクニカルニュース「GOT2000シリーズ SLMP接続動作確認機器一覧」No.GOT-D-0085をご参照ください。

## 9. OPC UAサーバ **NEW**

OPC UAサーバと通信を行うことができます。

動作確認済みのOPC UAサーバは、三菱電機FAサイトにてテクニカルニュース「GOT2000シリーズ OPC UAサーバ接続動作確認一覧」No.GOT-D-0137をご参照ください。

## 10. マイコン接続 **NEW**

パソコン、マイコンボード、シーケンサなどをGOTと接続し、GOTの仮想デバイスにデータの書き込み/読み出しができます。

## 関連カタログご紹介



三菱電機  
グラフィックオペレーションターミナル  
GOT2000シリーズカタログ  
L(名)08268



監視制御システム  
ソリューションカタログ  
L(名)08565



三菱電機  
Edgecross対応ソフトウェア  
総合カタログ  
L(名)16051



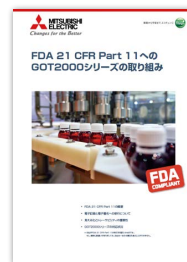
三菱電機産業用PC  
MELIPCシリーズカタログ  
L(名)08569



三菱電機  
e-Factory支援モジュール  
E001JPN



三菱電機FAアプリケーションパッケージ  
iQ Monozukuri 工程リモート監視  
L(名)08673



FDA 21 CFR Part 11への  
GOT2000シリーズの取り組み  
L(名)08608

# 仕様

項目	内容
解像度(ドット)	640~1920 x 480~1200
表示色	65536色
メモリ容量	57MB
接続形態*1	Ethernet接続、CPU直接接続、シリアルコミュニケーション接続、CC-Link IEコントローラネットワーク接続、CC-Link IEフィールドネットワーク接続、バス接続*2、MELSECNET接続

- \*1 各接続形態によって、必要な機器が異なります。  
 \*2 パソコンCPUユニット使用時のみ接続できます。

# 動作環境

項目	内容
パソコン本体	Windows®が動作するパーソナルコンピュータ 株式会社コンテック製パソコンCPUユニット(PPC-852-217、PPC-852-226)*8 MELIPC(MI5122-VW、MI3321G-W*14、MI3315G-W*14、MI2012-W、MI2012-W-CL)*15
OS(日本語版)	Microsoft® Windows Server® 2016 Standard (64bit) *1*2*4*6 Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard (64bit) *1*2*4*5*6 Microsoft® Windows Server® 2008 R2 (Enterprise, Standard) (64bit) *1*2*3*4 Microsoft® Windows® 10 (Enterprise, Pro) (64bit/32bit) *1*2*4*6 Microsoft® Windows® 10 (Home) (64bit/32bit) *1*2*4 Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise 2019 LTSC (64bit)(英語版OPK + 日本語言語パック)*1*2*4*6*11*12 Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise 2016 LTSC (64bit)(英語版OPK + 日本語言語パック)*1*2*4*6*11*12 Microsoft® Windows® 8.1(Enterprise, Pro) (64bit/32bit)*1*2*4*5*6 Microsoft® Windows® 8.1(64bit/32bit)*1*2*4*5 Microsoft® Windows® 8(Enterprise, Pro) (64bit/32bit)*1*2*4*5*6 Microsoft® Windows® 8(64bit/32bit)*1*2*4*5 Microsoft® Windows® 7(Ultimate, Enterprise, Professional) (64bit/32bit)*1*2*3*4 Microsoft® Windows® 7(Home Premium) (64bit/32bit)*1*2*4 Microsoft® Windows® 7(Starter) (32bit)*1*2 Microsoft® Windows Vista® (Ultimate, Enterprise, Business, Home Premium, Home Basic)(32bit) Service Pack1以降*1*2 Microsoft® Windows® XP(Professional, Home Edition) (32bit) Service Pack3以降*1*2 Microsoft® Windows® XP Embedded (32bit)*1*2*7
CPU	Intel® Core™2 Duo Processor 2.0GHz以上推奨
メモリ	64bit版OSを使用時:2GB以上推奨 32bit版OSを使用時:1GB以上推奨
ディスプレイ	解像度:XGA(1024x768ドット)以上
ハードディスク 空き容量*9	インストール時:5GB以上推奨 実行時:512MB以上推奨
表示色	High Color(16bit)以上
ハードウェア	GT27-SGTKEY-U(ライセンスキー(USBポート用))
その他ソフトウェア	プロジェクトデータを作成するには、下記のソフトウェアが必要です。 ・GT Designer3 Version1.100E以降*10*13 PX Developer連携を使用するには、下記のソフトウェアが必要です。 ・PX Developer Version1.40S以降 ・GT Designer3 Version1.105K以降*10 GX Simulator接続を使用するには、下記のソフトウェアが必要です。 ・GX Simulator Version5.00A以降 GX Simulator2接続を使用するには、下記のソフトウェアが必要です。 ・GX Works2 Version1.09K以降 GX Simulator3接続を使用するには、下記のソフトウェアが必要です。 ・GX Works3 Version1.007H以降 MT Simulator2接続を使用するには、下記のソフトウェアが必要です。 ・MT Works2 Version1.70Y以降 OPC UAクライアント接続を使用するには、下記のソフトウェアが必要です。 ・GT OPC UA Client*16
その他ハードウェア	上記OSに対応するものを使用してください。 ・インストール時:マウス、キーボード、DVD-ROMドライブ ・実行時:マウス、キーボード ・印刷時:プリンタ 下記は、必要な場合に準備してください。 ・実行時(ブザー音などを出力する場合のみ):サウンド機能、スピーカ

- \*1 インストール時、および使用時に、管理者(Administrator)権限が必要です。他のアプリケーションを連携させる場合、他のアプリケーションは、管理者権限で使用してください。
- \*2 下記の機能はサポートしていません。  
 ・Windows互換モードでのアプリケーション起動  
 ・ユーザの簡易切り替え  
 ・デスクトップテーマの変更(フォントサイズの変更)  
 ・リモートデスクトップ  
 ・100%以外のDPI設定(Windows® XP、Windows Vista®の場合)  
 ・画面上の文字やイラストのサイズを[1~100%]以外に設定(Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 8、Windows® 7の場合)
- \*3 Windows XP Modelは非対応です。
- \*4 Windowsタッチまたはタッチは、タップ操作のみ対応します。
- \*5 Modern UIスタイルは非対応です。
- \*6 Hyper-Vは非対応です。
- \*7 PPC-852-226のプレインストール時でのみ使用できます。
- \*8 株式会社コンテック製パソコンCPUユニットについては、使用するパソコンCPUユニットのマニュアルをご参照ください。
- \*9 GT Designer3、PX Developerを使用する場合、別に空き容量が必要になります。GT Designer3を使用時に必要な空き容量については、GT Works3動作環境にてご確認ください。  
 PX Developerのモニタツールを使用時に必要な空き容量については、下記のマニュアルをご参照ください。  
 ・PX Developer Version□ オペレーティングマニュアル(モニタツール編)  
 ユーザ作成アプリケーションを使用する場合、別に空き容量が必要になります。
- \*10 GT SoftGOT2000と同じGT Works3に入っているGT Designer3を使用してください。
- \*11 下記のOSは非対応です。  
 ・Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise for Retail or Thin Client  
 ・Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise for Tablets  
 ・Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise for Small Tablets
- \*12 下記のロックダウン機能を設定した環境は非対応です。  
 ・統合書き込みフィルター  
 ・Assigned Access  
 ・USBフィルター  
 ・AppLocker  
 ・レイアウトコントロール  
 ・Shell Launcher
- \*13 Edgexcross連携機能を使用するにはVer1.195D以降が必要です。
- \*14 MI3321G-W、MI3315G-Wについては、英語版のGT SoftGOT2000を使用してください。
- \*15 Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise 2016 LTSCがアインストールされています。  
 MELIPCの仕様については、下記を参照してください。  
 ・MELIPC MI5000シリーズユーザーズマニュアル(スタートアップ編)  
 ・MELIPC MI3000ユーザーズマニュアル  
 ・MI2012-W ユーザーズマニュアル
- \*16 OPC UAクライアント接続を使用する場合、OSはWindows® 7以降を使用してください。

## 製品一覧

### GT SoftGOT2000

品名	形名	内容	標準価格(円)
GT SoftGOT2000用ライセンスキー*1	GT27-SGTKEY-U	USBポート用	150,000

\*1 GT SoftGOT2000を使用するためには、パソコン1台ごとにGT SoftGOT2000用ライセンスキーが必要です。  
MELIPC MI3000はGT SoftGOT2000用ライセンスキーレスでGT SoftGOT2000を使用できるため、不要です。GT SoftGOT2000のソフトウェアは、GT Works3に同梱されています。

### MELIPC

品名	形名	画面サイズ	パネル色	概要	標準価格(円)
MELIPC MI3000	MI3321G-W	21.5型ワイド Full HD	黒	Edgecross基本ソフトウェア、 SLMPデータコレクタ、 GT SoftGOT2000プリインストール	オープン
	MI3315G-W	15型 XGA	黒		オープン

### エンジニアリングツール

品名	形名	内容			標準価格(円)
表示器画面作成ソフトウェア MELSOFT GT Works3	SW1DND-GTWK3-J	日本語版	標準ライセンス品	DVD-ROM版	30,000*2
	SW1DND-GTWK3-JC		サイトライセンス品*1		30,000*2
	SW1DND-GTWK3-E	英語版	標準ライセンス品*3		30,000

\*1 購入された同一法人、同一事業所内(海外拠点含む)に限り、無制限で使用可能です。

\*2 サイトライセンス品と標準ライセンス品の参考標準価格が同一になりましたので、サイトライセンス品の購入をご検討ください。

\*3 標準ライセンス品以外に、複数ライセンス品、追加ライセンス品をラインアップしています。2ライセンス以上であればご希望数のライセンスを販売いたします。詳細内容は最寄りの支社、代理店にお問い合わせください。

上記価格に消費税は含まれておりません。

#### 商標、登録商標などについて

DisplayPortは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
イーサネット、ETHERNETは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。  
Intel、Intel Core、Atomは、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標です。  
Microsoft、Windows、Access、Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
MODBUSは、シユナイダーオートメーションインコーポレイテッドの登録商標です。  
MTConnectは、The Association For Manufacturing Technologyの登録商標です。  
OPC、OPC UAは、OPC Foundationの商標または登録商標です。  
PCI ExpressはPCI-SIGの登録商標です。  
PictBridgeはキヤノン株式会社の登録商標です。  
SDロゴ、SDHCロゴはSD-3C、LLCの登録商標または商標です。  
その他の製品名、社名はそれぞれの会社の商標、または登録商標です。

写真の色等は印刷のため、実物と若干異なる場合があります。  
また画面においても、はめ込み合成のため実際の表示と異なる場合があります。

#### ご採用に際してのご注意

この資料は、製品の代表的な特長機能を説明した資料です。使用上の制約事項、ユニットの組み合わせによる制約事項などがすべて記載されているわけではありません。ご採用にあたりましては、必ず製品のマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については、当社は一切の責任を負いかねます。

#### ⚠️ 安全にお使いいただくために

- このカタログに記載された製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず「マニュアル」をお読みください。
- この製品は一般工業等を対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
- この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご相談ください。
- この製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、この製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能を系統的に設置してください。

# 国内サポート

**電話技術相談窓口** 受付時間\*1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号
自動窓口案内	052-712-2444
エッジコンピュータ製品	052-712-2370*2
MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnSシーケンサ (CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)	052-711-5111
MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般	052-725-2271*3
ネットワークユニット (CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)	052-712-2578
MELSOFTシーケンサ エンジニアリングソフトウェア	MELSOFT GXシリーズ (MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnS)
MELSOFT 統合エンジニアリング環境	MELSOFT Navigator
iQ Sensor Solution	
MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ
MELSEC/PLC/PLCボード	Q80BDシリーズなど
C言語コントローラ	
MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	
MELSEC計装/iQ-R/ Q二重化	052-712-2830*2*3
MELSEC Safety	052-712-3079*2*3
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	052-719-4557*2*3
FAセンサ MELSENSOR	052-799-9495*2
表示器 GOT	052-712-2417

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。  
 ※1:春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2:土曜・日曜・祝日を除く ※3:金曜は17:00まで ※4:月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 ※5:受付時間9:00～17:00(土曜・日曜・祝日・当社休日を除く)  
 ※6:月曜～金曜の9:00～17:00

**FAX技術相談窓口** 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00(祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット(QEシリーズ/REシリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258*7
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS(5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。  
 ※7:月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30(祝日・当社休日を除く)

**三菱電機サービスネットワーク** 三菱電機システムサービス株式会社が24時間365日受付体制にてお応えします。

サービス拠点名	住所	受付電話	時間外修理受付窓口	FAX専用
北日本支社	〒983-0013 仙台市宮城野区中野1-5-35	022-353-7814	052-719-4337	022-353-7834
北日本支社 北海道支店	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東2-1-18	011-890-7515		011-890-7516
東京機電支社	〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15	03-3454-5521		03-5440-7783
神奈川機器サービスステーション	〒224-0053 横浜市都筑区池辺町3963-1	045-938-5420		045-935-0066
関越機器サービスステーション	〒338-0822 さいたま市桜区中島2-21-10	048-859-7521		048-858-5601
新潟機器サービスステーション	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10	025-241-7261		025-241-7262
中部支社	〒461-8675 名古屋市中区矢田南5-1-14	052-722-7601		052-719-1270
静岡機器サービスステーション	〒422-8058 静岡市駿河区中原877-2	054-287-8866		054-287-8484
中部支社 北陸支店	〒920-0811 金沢市小坂町北255	076-252-9519		076-252-5458
関西支社	〒531-0076 大阪市北区大淀中1-4-13	06-6458-9728		06-6458-6911
京滋機器サービスステーション	〒612-8444 京都市伏見区竹田中宮町8番地	075-611-6211		075-611-6330
姫路機器サービスステーション	〒670-0996 姫路市土山2-234-1	079-269-8845		079-294-4141
中四国支社	〒732-0802 広島市南区大州4-3-26	082-285-2111		082-285-7773
岡山機器サービスステーション	〒700-0951 岡山市北区田中606-8	086-242-1900		086-242-5300
中四国支社 四国支店	〒760-0072 高松市花園町1-9-38	087-831-3186		087-833-1240
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-12-16	092-483-8208		092-483-8228
長崎機器サービスステーション	〒852-8004 長崎市丸尾町4番4号	095-818-0700		095-861-7566

## 受付体制

**通常受付体制** 平日9:00～19:00の間は、全国の支社・支店・サービスステーションでお受け致します。

**時間外受付体制** 休日・夜間は、機器製品の修理に関し下記の休日・夜間受付専用電話でお受け致します。

時間外修理受付窓口(機器製品全般) ☎ **052-719-4337**

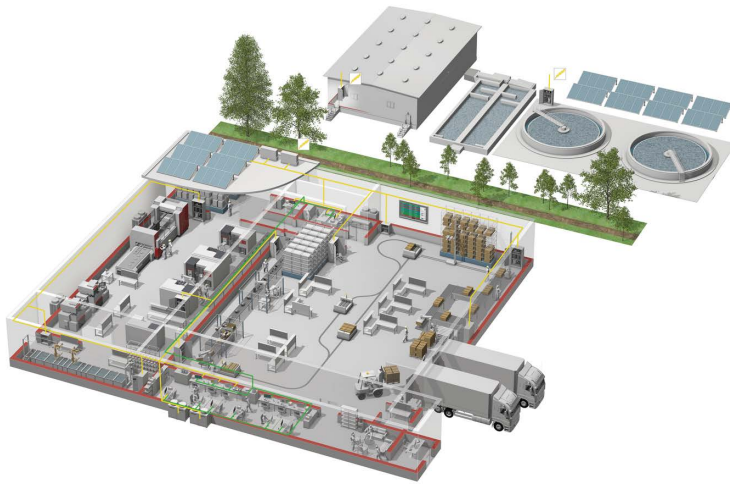
(受付時間帯) 月～金: 19:00～翌9:00 土日祝日: 終日

三菱電機 機器製品アフターサービス技術相談ダイヤル 052-719-4337

機器製品の故障診断など、技術相談を承ります。

(相談受付時間) 月～金: 9:00～19:00 土日祝日: 9:00～17:30

# YOUR SOLUTION PARTNER



三菱電機は、シーケンサやACサーボを始めとするFA機器からCNC、放電加工機など産業メカトロニクス製品まで、幅広いFA製品をお届けしています。

## 生産現場で、最も信頼される ブランドを目指して

三菱電機は、コンポーネントから加工機まで、幅広いFA(Factory Automation)事業を展開しています。さまざまな分野の生産システムを支援し、生産性向上と品質向上の実現を目指しています。そして開発から製造、品質管理まで一貫した体制で、お客様のニーズをいち早く取り込み、ご満足いただける製品づくりに取り組んでいます。

さらに、世界中で三菱電機独自の、グローバルネットワークを駆使し、確かな技術と安心のサポートをご提供しています。三菱電機のFA事業は、常にお客様との密接なコミュニケーションに基づき、最先端のFAソリューションをご提案し、世界のものづくりに貢献していきます。



低圧配電制御機器



高圧配電制御機器



電力管理機器



シーケンサ、産業用PC、FAセンサ



駆動機器



表示器 (HMI)



数値制御装置 (CNC)



産業用ロボット



加工機



変圧器、太陽光発電、EDS

# 三菱電機グラフィックオペレーションターミナル GOT2000対応HMIソフトウェア GT SoftGOT2000

## Global Partner. Local Friend.

### GT SoftGOT2000

三菱電機 FA

検索

[www.MitsubishiElectric.co.jp/fa](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa)

メンバー  
登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

## 三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

### お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部 … (03)5812-1450  
北海道支社 …… (011)212-3794  
東北支社 …… (022)216-4546  
関東支社 …… (048)600-5835  
新潟支店 …… (025)241-7227  
神奈川支社 …… (045)224-2624  
北陸支社 …… (076)233-5502

中部支社 …… (052)565-3314  
豊田支店 …… (0565)34-4112  
関西支社 …… (06)6486-4122  
中国支社 …… (082)248-5348  
四国支社 …… (087)825-0055  
九州支社 …… (092)721-2247

2019年8月作成

この印刷物は、2019年8月の発行です。なお、この印刷物に掲載した内容は、改善のために予告なく変更する場合がありますので、ご採用の節には、事前に弊社までお問い合わせください。